

睡眠研究 24年間の実績

電気を使用せず、
地球環境にも優しい

遠赤外線加工寝具 使用者レポート集

すべての人を健康に——。



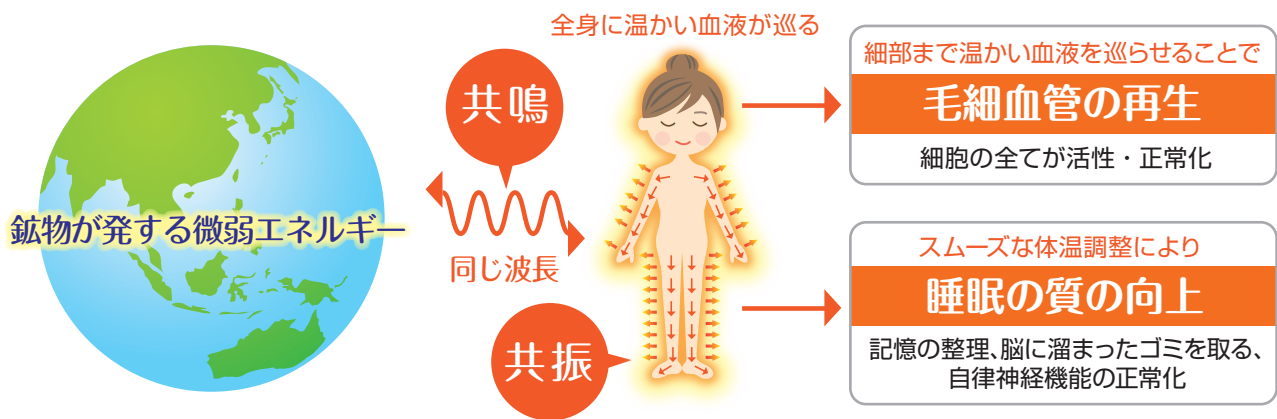
永久保存版

発行：PMC東京オフィス(2024年)

免疫力を高める究極の眠り

体温を上げ、血流を整えて、睡眠の力を100%引き出せば、免疫力が高まり、病気やストレスから身を守ることに繋がります。

電気を使わずエネルギーを創出する手段として、地球上に太古から存在する鉱物が発する微弱エネルギーに着目しました。研究を重ねた結果、特定の11種類の鉱物の組み合わせによる遠赤外線の波長が、体の内側で共鳴・共振反応をもたらし、熱を生み出すことが分かってきました。全身の隅々まで温かい血液を巡らせることで、入眠に必要な体温調整をスムーズに行うことができるのです。体温を上げ、血流を整えて、睡眠の力を100%引き出しましょう！



あなたの健康のために 毎日の睡眠時間を活用してみませんか？

毎日の睡眠8時間×365日＝年間約3,000時間を健康増進の時間へ！

当レポート集は遠赤外線加工寝具を使用した方々の記録です。



鉱石の組み合わせは10種類でも12種類でも同じ商品には成り得ません。11種類の組み合わせにより人体と共鳴できる遠赤外線が放射できるように設計されています。

11種類の鉱石配合について主要元素の含有率を解析しました。

11種類の混合鉱石の特徴は、赤外線分光計 (IR) による測定で、9.8μmを最大とした遠赤外線(3-20μm)を放射していることが確認されています。遠赤外線加工寝具に含有している金属元素を測定し、主要元素の含有率を求めたところ、遠赤外特性を示す元素が30%も占めており、より安定した遠赤外線を供給できることがわかりました。

NPO法人科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会
理事長 河野 雅弘先生 (元東京工業大学 生命理工学研究科 特任教授)

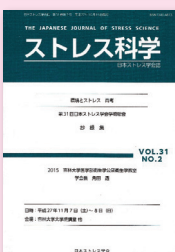
遠赤外線加工寝具 臨床研究データ 一覧

敬称略

日付	内容	報告者	内容
2002年2月6日	臨床データ	松原純一	金沢医科大学 胸部心臓血管外科 松原純一、神野正明 「遠赤外線加工寝具の臨床報告」
2011年7月8日～9日	学会発表	大町かおり	第23回日本運動器科学会 研究指導:聖隷クリストファー大学 大町かおり 志村直子 「遠赤外線加工寝具が体温及び身体柔軟性に及ぼす影響」 橋本由里奈 「遠赤外線加工寝具での安静仰臥位が下腿周径に及ぼす影響」
2013年12月20～22日	学会発表	大町かおり	第17回日本統合医療学会 聖隷クリストファー大学 大町かおり「遠赤外線加工ひざ掛けが手指末梢血流および気分 に及ぼす影響」
2014年9月1日	報告書	落合広子	医療法人トータルヘルス タカオカクリニックによるMRI試験 落合広子「認知症患者の遠赤外線加工寝具使用前・使用後の効果検証」
2014年12月20～21日	学会発表	大町かおり (齋藤道雄)	第18回日本統合医療学会(ランチョンセミナー) 長野保健医療大学(準備室) 大町かおり 「電源を必要としない遠赤外線マットの効果検証」 座長:齋藤ファミリーデンタル院長 齋藤道雄
2015年10月3日	学会発表	岩崎嘉代	第33回日本歯科東洋医学会 岩崎歯科医院 岩崎嘉代 「電源を必要としない遠赤外線ひざ掛けパットが自律神経に及ぼす影響について」
2015年11月8日	学会発表	河野雅弘	第31回日本ストレス学会 学術総会 杏林大学大学院 東京工業大学 河野 雅弘「遠赤外線(テラヘルツ波)の生体作用に関する検証」
2015年11月8日	学会発表	福井浩二	第31回日本ストレス学会 学術総会 杏林大学大学院 芝浦工業大学 福井浩二 「遠赤外線毛布が血流に及ぼす影響に関する検討」
2016年3月16日	学術論文	福井浩二 (河野雅弘)	芝浦工業大学 福井浩二 (東京工業大学 河野 雅弘) 「遠赤外線加工寝具が血流に及ぼす影響に関する検討」
2016年5月10日	報告書	河野雅弘	東京工業大学 河野 雅弘「遠赤外線加工寝具に担持された金属元素の研究」
2016年9月3日	学会発表	大谷憲	第18回日本褥瘡学会 パシフィコ横浜 株式会社PMC 代表取締役 大谷憲「遠赤外線の色分散マットの経過と評価」
2016年9月11日	学会発表	永田勝太郎	第29回日本疼痛心身医学会(ランチョンセミナー) 横浜情報文化センター 千代田国際クリニック 院長 永田勝太郎「健康と睡眠」
2016年11月17日	基礎研究	太田富久	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 環境健康科学講座 太田富久「抗ストレス試験の報告書」(鉱石添付布のストレス低減作用)
2016年12月25日	学術論文	永田勝太郎	千代田国際クリニック 院長 永田勝太郎 「遠赤外線加工寝具が人体に及ぼす影響について」 「睡眠障害と睡眠用具 遠赤外線加工寝具の効果」全人的医療Vol15(2016)
2019年5月23日	共同研究	国立研究開発法人 国立精神・神経医療 研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部	遠赤外線マット 研究実施計画 遠赤外線による体温への影響を評価する プライマリアウトカム 深部体温(直腸温) セカンダリアウトカム 皮膚温(体幹部、末梢部) 末梢一体幹温度勾配(DPG) 主観的温冷感 主観的快適感 交感神経系機能(LF/HF) 副交感神経系機能(HF) 主観的眠気 睡眠構築(PSG) 主観的睡眠感 (介入後)睡眠習慣



2014.12.21 日本統合医療学会
ランチョンセミナー 400人参加



第29回 日本疼痛心身医学会 ランチョンセミナー

睡眠時間を利用した健康法。



2000年

2001年

2002年

2003年

2004年

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

2010年

沿革と信頼性

混合鉱石の改良

マットの改良

- 遠赤外線加工寝具開発者 大谷憲氏による着想
1. 毎日継続できる健康法とは何だろう
 2. 人体に負担をかけないよう電気は使いたくない

最終目標は保険適用
病院で使用されてこそ、
真に人を救える。



●試作品完成

●金沢医科大学病院と臨床研究がはじまる

●株式会社PMC設立 流通開始

●富山県工業技術センターにて遠赤外線の質を随時検証

●鉱石を布面の部分的に加工
トルマリン単体よりも、鉱物の組み合わせによって効力を高められることを発見以降、2009年までに組み合わせの改良を少しずつ行う。

●PMC東京オフィス設立 (代表:片平健一郎)

●商標登録

●鉱石増量に成功、イチオウの化石を混合



●鉱石布面の全面加工に成 (結果的に鉱石が付いてい

●黒トルマリンブラックシリ遠赤外線とマ増えることを

●2009年を組み合わせを

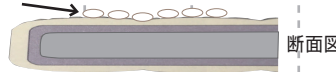
マットー種類からスタート

寝心地の改良

鉱石

原型となるマットの上に
鉱石のドットを表面加工。

このころは、
表面のわずかな部分に鉱石のプリント

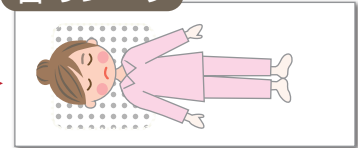


断面図

マットの中心に高反発の
スーパーウレタン、外側に
低反発構造に改良。

イオンマットの内部、
表面共に鉱石の量を増量

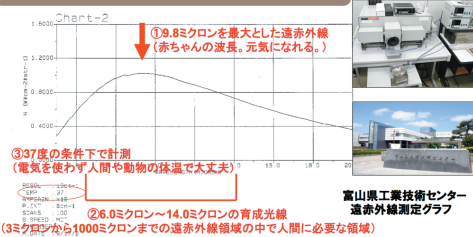
昔のシーツ 上半身が冷える人



昔は鉱石加工面が幅70cm四方程度の
わずかな面積でした。さらに当時の技術では
洗濯でポロポロと鉱物が落ちることもございました。

● 使用した方からの輪が広がり、3万人以上の実績

2002年 富山県工業技術センター
における遠赤外線測定試験



工場見学



台湾でも大人気



2011年 東日本
ボランティア



2007年
消臭・除菌効果がある空気触媒



エステ社にて
研修会



2010年
全国体験談発表会



和歌山にて講演会

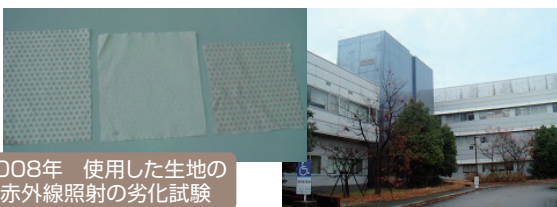


2011年
読売テレビ『ミヤネ屋』に
睡眠の専門家として出演



仙台にて講演会

2008年 使用した生地
の遠赤外線照射の劣化試験



着想から24年の歩み

2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年

●国内では一般医療機器 温熱用パックとして流通開始
(医療機関では消炎鎮痛処置として35点の保険点数)

許可証 療機器 ●動物用 動物用医療機器製造許可(農林水産省)取得

●FDA取得(アメリカ)

マーキング取得 (ヨーロッパ諸国)

●介護保険事業所設立 (要介護2以上の方は介護保険適応)

効 する面積が2倍

の量を増量
力減量検査の結果
イナスイオンの量が
発見



もって11種の鉱石の
固定医療機器申請



●貴陽石の質を
2倍に増量
更なる
遠赤外線と
マイナスイオンの
増大に成功



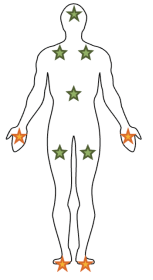
保険適用に向けた準備、
基礎研究の開始
(国立の睡眠研究機関と共同研究)



国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部
2022年3月9日

- 深部体温(直腸温)
 - データロガー-N543R(日機装サーモ)
 - 連続測定(1分)
 - 消灯時刻を基準に20分ごとに平均化
- 皮膚温10点
 - iButton(Maxim Integrated)
 - 末梢/体幹皮膚温度勾配の算出
- 睡眠ポリグラフ
 - 日本光電 Neurofax EEG-1260
 - 国際基準(R&K)に従った睡眠構築の視察判定
- デモグラフィック変数
- 主観評価
 - 眠気・温冷感・快適感・発汗感
- 質問紙
 - 主観的睡眠感(OSA睡眠調査票)
- 在宅睡眠記録(日誌、活動量計)

国内初の
新医療機器に向けて



(皮膚温装着部位)

を増量

マットを耐圧分散型に

完成形

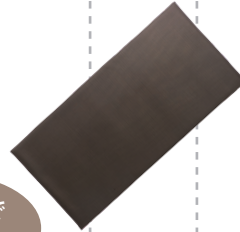
表面の全面と内部に鉱石プリントの
不織布を加える



体圧分散機能を備えた
「耐圧分散マット」完成
(血流阻害を軽減することで
床ずれや腰痛を予防)



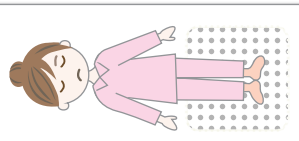
「耐圧分散マット」
の色がブラウンに



血流を止めない
優れた体圧分散性

～床ずれ・腰痛予防に効果的～
反発力の高い繊維を立体織りし
た多層構造で身体を支え、上下の
階層が独立したスプリングとな
り、圧迫する部分を軽減しました。
だから、安定感が充分にありなが
ら、まるで浮遊するような体圧分
散効果が得られます。

下半身が冷える人は鉱石を足側にする



今のシーツ



少ない力で
寝返りができる



2013年 『100歳まで元気でぼっくり逝ける眠り方』3カ国で出版

2018年
ドイツの医療機器展
「メディカ」にて



2018年
日本気象協会からの
睡眠相談実績

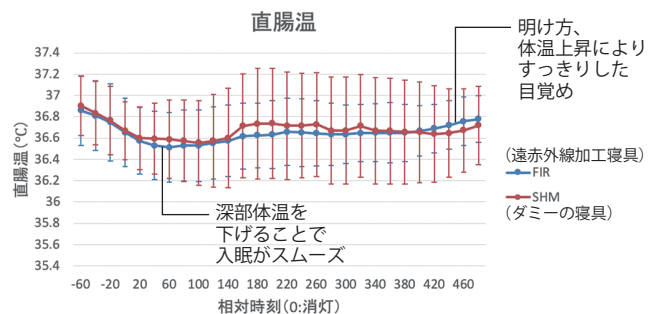


2018年
「最高の睡眠は
血流で決まる」出版



2019年
病院内で職員向けの研修会

国立精神・神経医療研究センター
睡眠導入を調べるため、深部体温(直腸温)の変化を計測



健康成人男女20名 環境条件:温度25℃、相対湿度50%、照度~0lux
その他、睡眠時間の増加、睡眠潜時の短縮、徐波睡眠の増加などがみられた。

大震災



2014年 免疫学者
故・安保徹先生との講演会



ケアマネージャー
200名に対して研修会



2015年 ラジオ日本にて
「医療界のキープソンに聞く」
の収録

第18回 日本統合医療学会 ランチョンセミナー

電源を必要としない遠赤外線マットの効果検証～『遠赤外線加



ランチョンセミナー

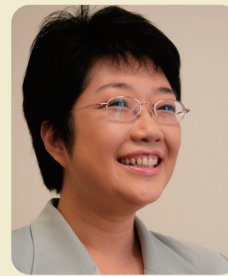
進行 座長：齋藤道雄先生

- 1) 研究発表 大町かおり先生
- 2) 商品説明 (株)PMC 東京オフィス 片平健一郎
- 3) 開発者挨拶 (株)PMC 代表取締役 大谷憲
- 4) 質疑応答



柏厚生総合病院 元副院長
代替医療振興協会学術理事
日本催眠学会理事
齋藤ファミリーデンタル院長
日本催眠応用医学会理事長
日本口腔サプリメント研究会 会長

さいとう みちお
齋藤道雄先生 座長



長野医療技術専門学校
(2015年4月より長野保健医療大学)
・東北大学大学院 医学系研究科
障害科学専攻 博士後期課程修了
・聖隷クリストファー大学・大学院
リハビリテーション学部
理学療法学科 教授 理学療法士

おおまち
大町かおり先生 研究発表

診療室での治療の不安や痛みの軽減のために、写真や絵を飾ったり、快適な環境づくりを導入しています。しかし、患者さんは歯医者さん行くと痛い、恐ろしい怖いとイメージが付きまといま。例えば待合室に待っている患者さんは、診療室で歯を削る音が聞こえ、歯医者さん独特のおいがします。名前を呼ばれて診療室に入っていく、そしてベッドに横たわり先生が来るのを待ってなければいけません。今すぐにでも逃げ出したい気分です。そこにマスクをした先生が来ます。マスクをしていると怒っているのか喜んでいるのか機嫌がいいのか表情がわかりません。それを見た患者さんは、不安で血圧が上がります。治療が始まり、自分で自分の歯を治しているところを患者さんは見る事ができません。見えない状態でいろいろ治療されている・・・もう早く終わらないかなあとと思います。その時にうちの診療所では患者さんに万能掛けパット(遠赤外線加工寝具)を診察室でも待合室でもかけています。患者さんに万能掛けパットをかけることによって非常にリラックスでき、治療がスムーズに進みます。また遠赤外線加工寝具は、免疫が落ちている人にも有効です。例えば低体温35℃くらいの方が36.6℃くらいまであがります。口内の疾患の改善にも有効です。

<これまで自律神経系、脳波、柔軟性、血流速度等の研究を行った> 得られた結果をまとめると、臥位での介入後に、交感神経成分の抑制、体幹柔軟性の低下軽減、深部体温の上昇がそれぞれ認められ、座位での介入後に、毛細血管血流量および血流速度の増加、主観的な緊張-不安・怒り-敵意・疲労尺度の減少、α波の増加がそれぞれ生じた。

これらの結果は、本製品群が、あたたまりながら末梢血流量を増加させ、交感神経の興奮を抑え、臥位後であっても体幹柔軟性を維持し、対象者に心理的な安寧をもたらしたと言える。

末梢血流量の増加がもたらす効果は大きく、身体の隅々まで血液をすばやく送ることができることから、体温が上昇し、脳には認知症やうつ等の軽減、筋にはコリや疲労の回復と疼痛の軽減に寄与することが予測される。また、体温が上昇することから、冷え性の軽減とともに長期的に見ると免疫系の活性化が期待できる。心理的な安寧がもたらされることから、患者やクライアントの緊張緩和、治療やセラピーの効果促進が推測される。



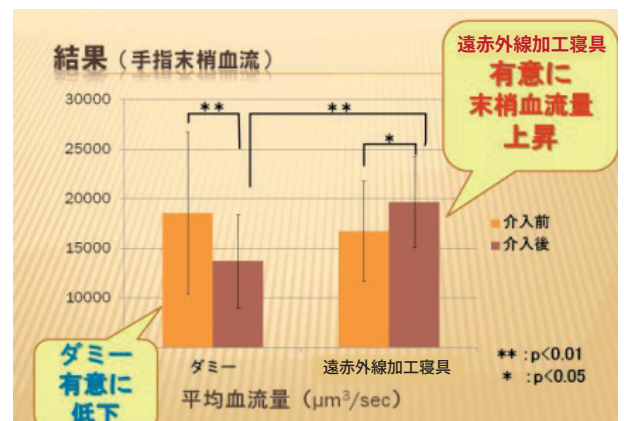
血流カウンセラーの片平健一郎(弊社代表)より遠赤外線加工寝具商品の説明



遠赤外線加工寝具の開発者の大谷憲氏より開発秘話と今後の展望



展示ブースにて毛細血管血流観察実演



『工寝具』に期待するもの～



日本統合医療学会
名誉理事長

あつみ かずひこ
故・渥美和彦先生

1928年大阪生まれ。京都の旧制第三高校を経て、1954年東大医学部卒。東大本木外科に人局して、心臓外科を専攻。超音波、ペースメーカなどの医用工学を学び、人工臓器の研究を始める。1965年、東大医用電子研究施設の教授に就任。レーザ医学、サーモグラフィ、医療情報システム、生体磁気などの先端医学の分野に挑戦し、1989年、人工臓器の山羊の長期生存世界記録をつくる。東大定年後、鈴鹿医療大学学長、日本学術会議第7部長などを経て1998年日本代替・相補・伝統医療連合会議、さらに、2000年には日本統合医療学会を設立し、理事長に就任。“国民のための医療”を旨とし、“統合医療の道”を歩んでいる。

故・渥美和彦先生からのお言葉 ～(株)PMCのランチョンセミナーの感想～

「体温を上げるということは、東洋医学でいろいろな現場でいつも行っている方法です。これは非常に良い方法だと私も思います。電気を使わないで、しかも簡単にできたということ、高く評価したいと思います。さらにどれだけ発展するか期待したいです。

もう1つ話したいことは、私は50年くらい前に医者として東京大学で教育を受け、さらに東京大学でも学生を教えました。同時に研究も行っていた私の感じたことですが、病気になって病院に行くと、病気になってしまいます。おかしいでしょ?!そこで、そのことを帯津良一先生(人間をまるごと捉えるホリスティック医学の第一人者)に聞いてみました。先生は『邪気がみなぎっているから病院に行くと病気になる』とおっしゃいました。先生は、これをなんとかしなければいけないということで、まず邪気を取り除くために彼は気功療法を行っています。

ソニーの開発者の井深さんとホンダの創設者の本田総一郎さんの二人から聞いた話ですが、いろいろ相談したいときに病院じゃなくて『健康院』は無いのか?『健康院』は病気じゃない人が来ます。私はこの『健康院』で、発表のあった商品をかけて安心させるのです。そして、そういう人達の意見を聴き、さらに病院に配布して普及するということを考えてらいたかがでしょうか?」



左から
片平健一郎、渥美和彦先生、大谷憲社長

ストレス軽減、口内炎も できにくい体質に

さいとう みちお
口腔外科医師 齋藤 道雄先生

歯科医院で診察を待っている時間は、「痛い」「怖い」と患者さんにイメージさせ、ストレスを与えます。それを払拭するには、自律神経機能の安定を図ることが肝要と考えた私は、患者さんに「遠赤外線加工寝具」を推奨し、効果を上げています。自律神経のバランスが乱れているかどうかを最も簡単に知る方法は、体温を測ることです。交感神経、副交感神経ともに過剰に緊張してしまうと、血流障害が起こり、低体温になります。数十個の細胞がベストの状態では活動できるのは36.5℃から37℃であり、それは体の中で起こる酵素やタンパク質の化学反応に最も適した温度なのです。体温が35.5℃に下がると臓器も冷え、身体の働きが極端に低下して、免疫力が下がります。口腔では、舌や唇に口内炎ができやすくなります。体温の低下は、ストレス過剰の生活や運動不足など、現代社会の弊害が体質まで変えてしまっていることが原因と考えられます。そこで私は、患者さんに「遠赤外線加工寝具」を自宅で実践するように指導しています。その結果、ほとんどの人が2カ月ぐらいで血流がよくなり、皮膚温が上がり、呼吸が落ち着き、胃腸の働きがよくなっていきました。来院時は35℃台だった体温が36℃前後を示すようになり、口内炎もできにくくなったのです。睡眠の質が低下すると、自律神経のバランスが崩れて血圧の上昇を招き、心臓や血管に大きな負担がかかります。また、ホルモンバランスの乱れや免疫力の低下を招き、生活習慣病を誘発します。こうしたストレスが原因の睡眠障害にも、「遠赤外線加工寝具」が非常に効果的です。

インプラントの手術

患者さんは恐怖心が強く静脈鎮静法(点滴に鎮静薬をいれる)を用いてインプラントの手術を施行。点滴をする際にも緊張しているので遠赤外線加工寝具にて副交感神経を優位にして落ち着かせる。術中も低体温にならないように使用。

口内炎

患者さんは平熱が35℃台口内炎が良くできる。冷えや低体温はあらゆる病気や不調の元凶である。催眠誘導の自律訓練法にて体温が上がることはすでに学会で報告されている。しかし訓練なのでうまく誘導できない場合もある。そのときには相乗効果を期待して遠赤外線加工寝具使用している。

貧血

これから親不知の抜歯する患者さんだが、緊張のあまり貧血を起こし、血圧は下降し具合が悪くなった。しかし遠赤外線加工寝具をかけているうちに呼吸も血圧も落ち着いてきた。



体験発表全国大会 in 横浜ロイヤルパークホテル



2010年3月28日に、株式会社PMC主催の「体験発表全国大会」が横浜ロイヤルパークホテルにて行われました。



イルカさん・竹内先生・大谷社長

「夢の対談」

遠赤外線寝具をこよなく愛する3人による夢の対談は大盛り上がり。竹内信幸先生のご尽力によりこの企画が実現できました。向かって右から株式会社PMC代表取締役 大谷憲社長 世界中に500人の弟子を抱える漢法・赤ひげ堂院長 竹内信幸先生 シンガーソングライター、IUCN国際自然保護連合 親善大使 イルカさん

イルカさん



いい物を探すことが難しい時代になっています。それは、物がたくさん溢れているからだと思います。その中から本当の目をもって物を選ぶことは難しいのですが、でも、いい物というのは本当に長く使っていて自分で確かだと思えるものだと思います。

※CM契約をしている訳ではございません。

竹内先生



タオルケットを羽織った瞬間に血流が瞬時に速くなってきたのです。それが非常に感動的でした。使い始めてほんの数秒でわかりました。

「認知度4から11となり家族も笑顔で暮らせるように」

福岡県福岡市在住 A.M.さん 女性

現在73歳の父は、50代で脳梗塞・糖尿病・高血圧を発症し、足に若干の障害が残りました。日常生活には支障なく過ごしてきましたが、3年前に脳梗塞を再発し倒れてしまいました。昼夜逆転や大声を上げる、徘徊等の症状が出るようになり、常にイライラ、空腹感の訴え、生年月日・年齢・日付も言えない、私のことを妹だと言うようになっていました。老人保健施設に入所することになりましたが、3日目の夜、不眠で大声を出し周囲の人を起こして徘徊、放尿、スタッフへの暴力など問題行動を起こしてしまい、翌日には退所の話が出てしまいました。どうにか落ち着いてくれる方法はないかと考えていたところ、よく眠れてリラックスできる寝具があると聞いたことを思い出し、その遠赤外線加工寝具とニット帽を購入し使い始めました。

父が寝ている間に、そっとニット帽をかぶせ、ブランケットをまわせると、驚いたことに使い始めた日から暴力や暴言が劇的に収まり寝てくれました。翌日の昼間に行ってみると、ニコニコ笑顔で、倒れてから見たこともなかった新聞を読んでいる父の姿がありました。1週間たつと表情も穏やかに、暴言や暴力はなくなりました。娘である私のこともしっかり認識し、自分の生年月日、年齢、友人の名前なども言えるようになり、父の症状は落ち着き、会話も普通にできるほど回復しました。

そして笑顔を見たことのない父がにこやかに「人と話すときは笑顔で話さなければいかんね。

僕は昔から怒りよった。いかんね。」と意外な言葉を話し始めました。私には信じられない光景が目の前に起こり、ただ驚くばかりです。

父は施設入所時は痴呆スケールで認知度4の重症認知度でしたが、ニット帽を使用して約2ヵ月後、認知度が11の中度認知症と、以前より良くなっていました。この結果から、自信をもって父の状態が変化していると言えます。

この商品の驚くべき効果を実感しております。まだ車椅子の生活が続いていますが、入所前より患っていた足のむくみも概ね取れ、状態も落ち着いたため、入所時より服用していた薬の投与が中止となりました。この商品に出会わなければ、私たち家族は仕事もできず途方にくれ、家族崩壊もありえたと思います。

驚きました!そして娘さんの愛情に感激!

帽子をかぶるだけでこんな効果が?と驚き!

認知症まで改善できるとはすごいと思いました!



「脳梗塞で左半身がマヒ ～後遺症で悩む日々から脱出」

山形県在住 T.H.さん 60代男性

23年前の37歳の時、脳梗塞が原因で右半身がマヒしました。薬は飲まずにリハビリを続けていましたが、半年後、今度は左半身がマヒしてしまいました。その後脳溢血で倒れた母を20年間看病しながら、脳梗塞の後遺症に悩まされながらも、なんとか50歳までは!と願いながら必死で生きてきました。



58歳の時、「ただ寝るだけで良い」と遠赤外線加工寝具を紹介され、今の先入観もなく50日間寝たところ、20年間ずっと苦しんできた頭のしびれがなくなりました。この時感じたのは、「これは本物だ!」ということでした。

素晴らしい体験談、これは凄い本物だと確信した。



上村カイロプラクティックオフィス 院長 上村高史先生

熱海断食道場長 故・牧内泰道先生



どの方の体験も身につつまされるものがあり感動しました。今日の体験発表会に参加させていただき多くの人の体験そして本物があることに感謝です。今日はありがとうございました。

「ある日突然の腰痛…。 5万人に1人という病魔との闘い」

滋賀県草津市在住 K.F.さん 70歳男性・会社役員

昨年2月、突然の腰痛が私を襲いました…5万人に1人という難病“多発性骨髄腫”でした。骨を溶かし自然骨折を起こすという恐ろしい骨髄液のガンで、『免疫グロブリン』の値が7969(正常値は870~1700)という爆発的な数値になっていました。完治は望めず、余命30ヶ月と宣告されましたが、それでも前向きに考え、手術や抗ガン剤治療を行ないながら、入院している時も自宅でも遠赤外線加工寝具のマットを使い続けています。すると使い始めて9ヶ月後の検査で、『免疫グロブリン』がなんと!正常値に回復していました。

「この病気で正常値の範囲内に入るのは100人に1人位しかない」と聞き、このマットの効果はスゴイ!と信じております。

免疫グロブリンの数値

検査項目	測定値	単位	基準値	検査項目	測定値	単位	基準値
ALP	24.1	%	99 - 12	免疫グロブリンIgG	7969	mg/dl	870 - 1700
AST	1.8	%	2 - 4	免疫グロブリンIgM	35	mg/dl	35 - 220
ALT	4.7	%	6 - 10	免疫グロブリンIgA	64	mg/dl	110 - 410
胆红素	4.8	%	7 - 11	CRP	0.14	mg/dl	0 - 0.29
胆红素	0.48	%	19 - 25	尿酸	(-)		
胆红素	0.52			尿酸	(-)		
尿酸	0.52			尿酸	(-)		
尿酸	0.52			尿酸	(-)		

2007.6.22 数値7969

検査項目	測定値	単位	基準値
免疫グロブリンIgG	2633	mg/dl	870 - 1700
免疫グロブリンIgM	35	mg/dl	35 - 220
免疫グロブリンIgA	64	mg/dl	110 - 410
CRP	0.14	mg/dl	0 - 0.29
尿酸	(-)		
尿酸	(-)		
尿酸	(-)		

2008.1.10 数値2633

検査項目	測定値	単位	基準値
免疫グロブリンIgG	1657	mg/dl	870 - 1700
免疫グロブリンIgM	38	mg/dl	35 - 220
免疫グロブリンIgA	(-)		
CRP	(-)		
尿酸	(-)		
尿酸	(-)		
尿酸	(-)		

2008.3.6 数値1657

9名の発表タイトル

- 広島県 私、認知症。主人、脳幹梗塞。
- 山梨県 親子3代「アルファー家族」
- 京都府 ご主人の癌からの改善体験
- 愛知県 らくらく骨盤調整で腰痛解消
- 滋賀県 5万人に一人の病魔:多発性骨髄腫
- 東京都 子宮筋腫からの脱却
- 福岡県 認知症克服体験レポート
- 大阪府 わずか1ヶ月で車椅子も不要に!
- 山形県 私の人生を変えた寝具

「子宮筋腫も笑顔で 話せるようになりました」

東京都在住 K.M.さん 50代女性

私が赤ひげ堂治療院の竹内先生を訪れたのは3年前のことです。それまで、子宮筋腫で大学病院に5年程通院していましたが、子宮筋腫が10cmの大きさに達してしまい、手術するしか治療はないと言われ、迷いながらも切らない治療法があるのではないかと、手術を断った時でした。以前から竹内先生にアレルギーの治療を受けてきた息子に勧められ竹内先生を訪れると、「切らなくて大丈夫です。必ず治りますよ。良いものがあるので!」と力強い言葉をもらいました。そして遠赤外線加工寝具を勧められ使ってみると、3~4ヶ月後あたりから、伴っていた子宮内膜症の痛みも和らぎ、検診の度に子宮筋腫が確実に小さくなってゆき、今では手術しなくてもよい大きさになりました。

この“電気を使わない寝具”は、まさに“優れたエコ医療製品”だと思います。



皆さん熱く語ってくださり、感激し刺激をうけました。順位はつけられないくらい、感動しました。



どの人も布団に寝ただけで身体がよくなっていることにびっくりしました。薬ではなく寝るだけでよくなるのが素晴らしいと思います。

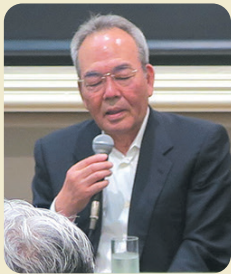
シンポジウム「遠赤外線加工寝具の可能性」

2019年10月19日in エクシブ琵琶湖



遠赤外線加工寝具
開発者
株式会社PMC
代表取締役

おあたに のりお
大谷 憲社長



厚生労働省の
麻取締りを担当
東京工業大学大学院
生命理工学研究科

やない ひろゆき
箭内 博行先生

東京工業大学教授 箭内 博行先生

国立の睡眠研究施設において、遠赤外線加工寝具に関するデータを基に、基礎的な実験を行っていただく方向で進めております。睡眠導入寝具として効能・効果を示し、医療の認可を取る方向で動いているところです。

心臓外科医

心臓外科医として生活習慣病の末に手術になるような病気を診てきていますが、予防できたり、もっと早く対処できたりすれば良かったと思っておりました。今年の4月から京都大学で予防医療にも携わり、科学的な根拠を提示していくような仕事をしたいと思っている時に遠赤外線加工寝具と出会いがありました。日本で医療機器を作っているのは中小企業で、開発して完成したはいいが、市場に出して販売するという連携がまだまだ確立していないので、その点でもお手伝いしたいと思っています。その結果、世の中を変えることができるというのが、とてもやりがいのあることと思ひ、いろいろと参加させていただいています。



都立駒込病院
脳神経外科 部長

しのうら のぶさだ
篠浦 伸禎先生



内科学会指導医・
リウマチ膠原病専門医・
日本医師会認定産業医・
未病セルフケア協会会長
みなと元町内科
クリニック 院長

かさき しんべい
笠木 伸平先生

内科医 笠木 伸平先生

リウマチ膠原病という難病を治したいという思いでより専門な医師を目指してきました。リウマチ、膠原病の患者さんは、薬の副作用で身体はボロボロです。薬による副作用を少しでも減らす治療を勉強するために海外に留学していました。そこで必要だと考えたのが東洋医学です。また海外から帰って来た頃に不眠やストレスについて興味を持つようになり、心理学も取り入れました。クリニックではカウンセリングによる治療も行なっています。ストレスを抱えている人は不眠になりがちで、また不眠の原因も山ほどありますので、カウンセリングをしながら様々な手法で治療をしています。何とか薬に頼らずに世界をつくるということ、何よりも皆さんが自分自身で知識を持ってケアができる、そんな世の中にしたいたいと思ひ活動しています。遠赤外線加工寝具のことを知り、クリニックの看護師さん達に使ってもらい感想を聞くと、みんな気持ち良く眠れたと言ひ、私も良く眠れて朝すっきりという印象です。クリニックに来た患者さん也使えるようにしています。



医療法人トータルヘルス
理事長
タカオカクリニック院長

おちあい ひろこ
落合 広子先生

実践研修会

遠赤外線加工寝具開発者 大谷 憲社長

薬剤師になった私のことを一番に喜んでくれた祖父が寝たきりになり、最後は薬漬けで苦しんで亡くなったのをきっかけに「薬以外の方法で人を健康にできないか」という想いで製薬会社を辞め、17年前に株式会社PMCを立ち上げました。病人や寝たきりのお年寄りを救うために、寝ながら健康になってもらうために、電気を使わずに体温を上げ、血流を良くし、代謝・免疫力を高めるものを作りたい、それが遠赤外線加工寝具の原点です。

健康は人間の永遠のテーマであり、健康に役立つものだけを扱いたいという理念の元、現代人に適している“寝ながら健康になる寝具”、裏付けされた機能性のある寝具として遠赤外線加工寝具を広めていくことで、医療費削減、薬害からの脱却、薬漬けのお年寄りや病人を救う、病気を減らすことにつながっていると信じています。

脳外科医 篠浦 伸禎先生

まさに波動医療ですね。やはり遠赤外線加工寝具はエビデンスが高いと思います。これだけ出して充分信じるに値すると思うし、良く眠れるのは事実だと思います。原理もきちんとされていて、これから伸びるのかなという感じがしますね。

脳の中でも視床視床下部は様々な機能が集積している場所。視床下部が扁桃体(嫌い)報酬系(好き)をコントロールできていればストレスが脳にプラスに働きます。

今の日本人はこれをコントロールする教育を受けていないため、ストレスに衝動的に反応することが多く、様々な生活習慣病になったり、社会的に問題を起こしやすいのです。

遠赤外線加工寝具は視床下部を活性化して、扁桃体・報酬系問題を改善する可能性の高い医療機器である。患者さんの症状の治り方を見ていると視床下部に効いているのではないかと思います。体験談の例を見ると、性格が温厚になったり成績が上がるなどの結果がみられ、視床下部が働き出すと脳が働き出したと言えます。永田勝太郎先生の研究結果でも、睡眠状態を改善し、向ホメオスタシス効果、自律神経系の正常化、酸化バランスの防御系の正常化など、まさに基本的に視床下部を元気にしているという検証です。

公衆衛生医 落合 広子先生

遠赤外線加工寝具に一番期待するのは対ストレス。クリニックの診療では、体質や体調に合わせ、食生活などの生活アドバイスを行っています。元をたどっていくとストレスからくる緊張やイライラで血管が収縮する、ストレスにより、食生活が乱れたり、判断や行動を間違ったり、結果的に将来いろいろな形となって病とし出てくるわけです。血管の収縮、その時点で遠赤外線加工寝具を使えば、血流を良くし、将来病気になっていたかも知れないのを予防できるのではないかと思います。もちろん病気の予防だけでなく、血流が良くなると脳の機能も良くなるので、脳力がアップし、生活面、仕事面、社会的によい結果につながると思います。



2016年米原市にて

元東京工業大学
生命理工学研究科 特任教授
河野 雅弘先生



2015年輕井沢にて



2016年米原市にて

芝浦工業大学システム理工学部
生命科学科 教授
福井 浩二先生



2016年盛岡にて



工場見学



千代田国際クリニック院長
永田 勝太郎先生
(左から2番目)



例年の
研修会風景

2011年 被災地支援では心身のケアとして大活躍



皆様からご支援いただきました
遠赤外線加工寝具を被災地30箇所
で役立たせていただきました。
多くの感謝状の中から市長様より
いただいたお便りを中心に
報告させていただきます。

平成 23 年 4 月 16 日

株式会社PMC東京オフィス

代表 片山 健一郎様

名取市保健センター

保健師 荒川 恵子

受け入れ証明書

東北地方太平洋沖地震の支援として、下記の物品を無償で受け入れましたことを証明いたします。

記

1. 物品名 遠赤外線パット 12 枚
2. 使用した方の感想
 - ・人の暖かさとした「ほわっ」とした暖かさで、いつの間にか眠りに就くことができました。次の日も、目覚めが大変良かったような気がしました。とても高価な商品を寄付していただいただき、大変感謝しています。
 - ・とても暖かくて、気持ちよかったです。
 - ・軽くて、薄くてとても暖かく、ぐっすり眠ることができました。ありがとうございます。

宮城県名取市の保健所より
いただいた受け入れ証明書。
(宛名が「片平」ではなくて誤りで
「片山」になっています)
名取市保健所ならびに近隣の
避難所では鍼灸治療と
骨盤調整体操が静かなブームに
なりました。



株式会社PMC
代表取締役 大谷 憲 様

先日は、東日本大震災で被災した本市にご訪問いただき、沢山の義援物資を賜りまして、誠にありがとうございます。
ご寄付いただきましたブランケットは、避難所で生活されている高齢者の方々に利用していただき、電気・ガス等のライフラインが途絶え寒い中でも大変暖かいと好評でありました。心より感謝を申し上げます。
今後は、一日も早くこの震災から立ち直り、元の元気の強さを取り戻すため、市民と一体となり復興に取り組んでまいりますので、今後もよろしくご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年4月23日
宮城県塩竈市長 佐藤 昭

■宮城県塩竈市長 佐藤昭様より
2011年4月 (2011年9月5日には
義援金をお届けいたしました)

謹啓
貴社におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。茲にお慶び申し上げます。この度の東日本大震災に際しましては、被災した名取市の方々に、多大なるご支援、お慰めを賜り、心から感謝申し上げます。
3月11日に発生した東日本大震災により、本市は中核的役割が果たし、本質的被害を受けました。現在まで復興いたしました被災者は、死者911名、行方不明者82名、全壊家屋2,786棟、壊地の家屋1,588棟、工場や事業所、公共施設の損壊は計り知れず、大勢にも経済的にも大打撃を蒙ったところであります。
そのような中で、皆様から支援いただきました心温まるご支援に、ただただ感謝いたします次第であります。あの悲惨なような震災から半年が経過し、ライフラインは一部の地域を除き復旧し、ガレキの撤去も進みつつあります。被災された方は仮設住宅等に入居し、生活再建に向けた活動の一歩を踏み出しております。復興への道筋は長く険しいものではありますが、震災後よりも能力が落ち、安全安心な街づくりに向けて、全力で取り組んでいく所存であります。
今後とも貴社様の御心ご支援ご寄付を賜りますようお願い申し上げます。まずは貴社をもってお礼の挨拶とさせていただきます。

平成 23 年 8 月 30 日
(株)PMC
代表取締役 大谷 憲 様
名取市長 佐々木 一十郎

■宮城県多賀城市長 菊池健次郎様より
2011年8月

- 期間
2011年●4月1日～3日(七ヶ浜町、塩釜市、多賀城市、岩沼市、名取市)
●4月9日～16日(七ヶ浜町、塩釜市、多賀城市、名取市、宮古市、釜石市、陸前高田市、気仙沼市、東松島市、石巻市、女川町)

- 支援内容
●ブランケット(タオルケットと含め)今回分120枚を被災地へ寄付。
●市の健康増進課、保健所や避難所の医療従事者へ手渡す。
●骨盤調整体操を保健師の方々へ教える。避難所では避難者に教える。月館先生は鍼灸治療。

- メンバー
●西田延康(山梨の骨盤セラピスト) ●大谷憲 ●片平健一郎
●佐藤誠司 ●月館研(漢法・赤ひげ堂 治療家)
- 主な提供先・慰問先
●宮古市保健福祉部健康課 ●宮古保健所 保険課 健康促進グループ ●釜石市役所隣の避難所内 企画調整係
●釜石小学校 ●多賀城市総合体育館 ●塩釜市役所 秘書室 ●七ヶ浜 国際村 ●七ヶ浜 役場 ●七ヶ浜 公民館
●女川町勤労青少年センター ●女川町スローライフビレッジ野の浜 ●牡鹿半島の小さな漁村(電気がない)
●女川町立病院 ●石巻市の大谷社長の友人の薬剤師 ●東松島市の保健所 ●石巻市役所 ●陸前高田市立第一中学校
●陸前高田市民部健康推進課 ●気仙沼市民健康管理センター「すこやか」 ●気仙沼市立気仙沼小学校
●多賀城市 天真小学校 ●多賀城市市民会館 ●塩釜ガス体育館 ●塩釜市 塩釜市民館 ●七ヶ浜市 松ヶ浜小学校
●岩沼市民会館 ●岩沼市総合体育館 ●名取市保健所 健康福祉部保健センター

謹啓
残雪の残、雪が降りおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度の東日本大震災に際しましては、被災した名取市の方々に、多大なるご支援、お慰めを賜り、心から感謝申し上げます。
3月11日に発生した東日本大震災により、本市は中核的役割が果たし、本質的被害を受けました。現在まで復興いたしました被災者は、死者911名、行方不明者82名、全壊家屋2,786棟、壊地の家屋1,588棟、工場や事業所、公共施設の損壊は計り知れず、大勢にも経済的にも大打撃を蒙ったところであります。
そのような中で、皆様から支援いただきました心温まるご支援に、ただただ感謝いたします次第であります。あの悲惨なような震災から半年が経過し、ライフラインは一部の地域を除き復旧し、ガレキの撤去も進みつつあります。被災された方は仮設住宅等に入居し、生活再建に向けた活動の一歩を踏み出しております。復興への道筋は長く険しいものではありますが、震災後よりも能力が落ち、安全安心な街づくりに向けて、全力で取り組んでいく所存であります。
今後とも貴社様の御心ご支援ご寄付を賜りますようお願い申し上げます。まずは貴社をもってお礼の挨拶とさせていただきます。

平成 23 年 8 月 30 日
(株)PMC
代表取締役 大谷 憲 様
名取市長 佐々木 一十郎

■宮城県名取市長 佐々木一十郎様より
2011年8月



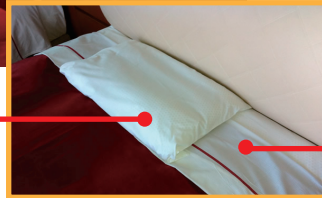
2016年
熊本地震ボランティアについて
俳優の塩谷瞬さんを通じて被災地へ遠赤外線加工寝具が届けられました。エコノミー症候群対策として有効です。塩谷さんも遠赤外線加工寝具のご愛用者です。

ホテルにて4000人にも及ぶ使用実績



東京・汐留のホテル、ロイヤルパーク汐留タワーの「ドリームルーム宿泊プラン」の企画で「遠赤外線加工寝具」が導入されました。(2008~2012年)

枕
枕カバーはホテルのものです。



ベッドパット
シーツはホテルのものです。下記感想は主にこのベッドパットの効果によるもの。

僅か一晩で!

体感、遠赤外線加工寝具を使用したお客様の感想のほんの一例

遠赤外線加工寝具枕が良い

身体全体が暖まる感じ

毎日使えば元気が出そう

使用している間は体がじんわり温かく感じた

すっきりと目覚めました

眠りが深く快適でした

普段、宿泊施設では余り眠れないが、今日はぐっすり眠れた

タオルケット1枚だけなのに寒くならなかった

枕を見たとき「大丈夫?」と思ったのですが寝心地は最高

首のコリも取れて夜中に何回も寝返りしても**楽ちゃん**

非常に心地よい睡眠がとれました

普段使用している毛布より気持ちが良い

温かかったので、商品を購入したい

いつも起きると腰が痛むのが、今日は無かった

ぐっすり眠れた

首の辺りが温かく気持ちが良い

ポカポカになってびっくりしました

身体の調子が良くなった

寝覚めがすっきりしている

ふんわり温かく湯たんぽいらす

二回目ですが本当に疲れが取れます。不思議

リラックスしました

介護施設の声

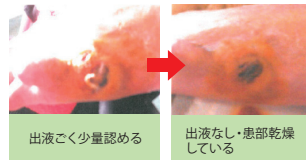
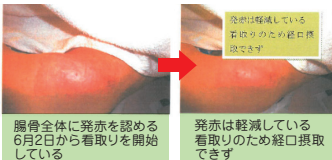
金沢市S介護施設より

約1ヶ月後には、循環不全が改善し床ずれはほとんど改善

患部ステージ3からステージ2へ改善した

Aさん 96歳 女性

Mさん 87歳 女性



臍骨全体に発赤を認める6月2日から看取りを開始している

発赤は軽減している看取りのため経口摂取できず

出液ごく少量認める

出液なし・患部乾燥している

病院の声

金沢市の病院より

約3ヶ月後には、足の腫れと高血圧が改善(最高血圧100→91)(最低血圧75→62)

むくみが回復した

- ・アルツハイマー型認知症
- ・廃用症候群
- ・十二指腸 乳頭ガン術後
- ・高血圧症
- ・変形性膝関節症
- ・骨粗しょう症

Tさん 女性
大正13年12月11日生まれ
91歳、要介護度3



老人ホーム 施設長の声



養護(盲)老人ホーム 自生園
施設長 外丸妙美さん

介護保険も使えるということで施設で使用することになりました。実際に使用して、皮膚が赤くなったり床ずれすることもなく入居者の方が快適になって本当によかったと思います。

全国から届く、喜びの声

バセドー病の症状が解消した!

高木 真紀子さん

「不調は
いつまで続くの…」
そう思っていた
日か嘘のように
今は本当に元気に
なりました!



何十年も不調に悩み続けて

私は遠赤外線加工寝具に出会うまで、十数年の間、バセドー病と更年期障害による不調に悩み続けてきました。体に異変を感じたのは27歳の時。最初は「疲れやすい」と感じる程度でしたが、ある日、突然腹部に強い痛みが走り、検査の結果、バセドー病と診断され、甲状腺の薬を服用し続けました。しかし、体調は良くなり、不眠にもなり、睡眠導入剤や安定剤に頼るようになってしまいました。40代半ばの頃から、更年期障害も重なり、不眠症がさらに悪化。熟睡できず、朝になっても体は疲れ切ったまま。無理やり起きて、なんとか家事をこなす状態でした。

届いた初日からグッスリ!

この寝具を知ったのは、それから何年も経った平成29年。医師の夫が東京の学会に出席した際に遠赤外線加工寝具を知り、「試してみたらどうだ」と進めてくれたので、早速ベッドパッドとタオルシート、タオルケットを購入し、を使ってみたら、驚いたことに初日からグッスリ眠れたのです。それまでは寝付くまで1時間以上かかっていたのに、3ヶ月後には10~20分で寝つけるようになりました。使い始めてから2年が経ち、今では毎日元気に過ごせるようになりました。

脊椎分離症からの回復!

西田 延康さん

大怪我で後遺症が残った

息子は、小学生の頃から陸上の長距離選手として活躍していたのですが、中2の駅伝大会で競技後に激痛に襲われ、5番腰椎の疲労骨折による脊椎分離症と診断されました。手術はできない部位及び症状なので、コルセットで固定し、痛み止めを使いながら回復を待つしかなく、治る確率は50%あるかないか。自宅近くの整形外科をはじめ、長距離選手専属のスポーツドクターや脊椎治療の権威の医師にも診てもらいましたが、主だった成果はありませんでした。

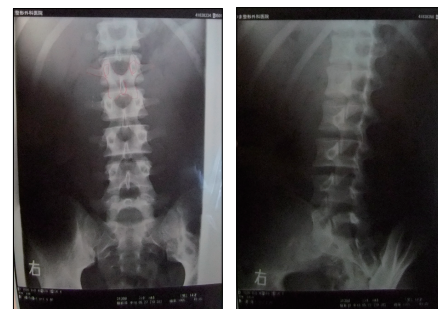
寝ているだけで完全に回復

発症から3年経った頃、遠赤外線加工寝具を知り、できることはすべてやってあげたいとベッドパッド、タオルケット、ブランケット、腹巻を購入しました。初めて使った翌朝、痛みで寝つきが悪かった息子が「ぐっすり眠れた」と嬉しそうに話してくれま

遠赤外線加工寝具が
出口の見えない
辛い日々から
私たち親子を
救ってくれました!



した。その後、息子の体調はみるみる回復、数か月後には、また走れるようになりました。進学もスポーツ実技試験のある国立大学を希望し、懸命な練習の成果もあって、試験ではなん



と中・長距離走で自己ベストを更新して1位に!試験は見事合格、怪我をしてからの日々を振り返ると、本当に夢のようです。

虚弱体質だった息子が元気になるって京大合格!

加藤 栄さん

悩んでいたのが
嘘みたい!



私の息子は虚弱体質で、生まれてすぐに異変が見つかりました。高熱が何ヶ月も続き、赤ちゃんなのに首や肩がゴリゴリに凝り固まっていて、まともに眠ることができなかったのです。

どこの病院に行っても原因が分からず、幼稚園や小学校では「1週間通って20日間休む」という日々を送っていました。中学に進学した頃には、頑張っていた息子も心身ともに疲れ果てていました。

そんな息子の姿を見て悩んでいたある日、「薬もいらぬ。寝るだけで健康になる寝具」という記事を読み、藁をもつかむ思いでベッドパットを購入しました。

そうしたら驚いたことに、それまで、夜寝つくまでに1時間はかかっていた息子が、ものの5分とかからずに眠ることができたのです。それも朝までぐっすりと。

その後、体調が順調に回復していったので、今度は長年の悩みだった頭痛と便秘の解消のためにニット帽と腹巻きを追

加購入。すると、ますます調子を取り戻していきました。

そのおかげが分かりませんが、それほど勉強熱心ではなかった息子の成績が良くなっていきました。部活とクラス委員を掛け持ちしながら、塾も行かずに、難関の京都大学に合格できたのです。息子の話では、よく眠れるようになったおかげで、集中力や記憶力が上がり、また、以前は「どうせ自分なんて」と考えがちだったのが、今では前向きに頑張れるようになったとのこと。



「ニット帽」と「万能かけパット」を使って勉強している、加藤さんの息子さん。



吹奏楽部で凛々しく演奏する姿からは、虚弱体質だったとは思えないほど。

死を覚悟するほどの膠原病が奇跡的に回復!

川嶋 由紀さん

免疫以外に
血圧も
正常に!

嬉しい♪



数年前に、^{こうげん}膠原病^(※1)と診断を受けた時、「私は病気と一生付き合っていかなければならないのか」と絶望していました。

当時の私は、「良いところがない」と言えるほど健康状態が悪く、健康診断では、肝臓、腎臓、脾臓、胃、大腸、血圧、白血球数と、あらゆる項目で異常値が見つかっていました。「このままではまずい」と治療を進めていた時に、とどめを刺すように膠原病との診断が下ったのです。

その直後に、足の指を骨折し入院することになり、その後徐々に関節が固まり、立って歩くことが困難になってきました。医師からはリウマチと診断され、なんと「発症から10年は経過しているかもしれない」と言われたのです。

退院後も状態は悪くなる一方でした。治療に使っていたステロイド薬は副作用が強く、直前まで自分がしていたことが分からなくなったり、子供の名前がパッと出てこなかったりと、まるで認知症のような症状が出ていました。本当に、生きているのが嫌になるほどの日々でした。

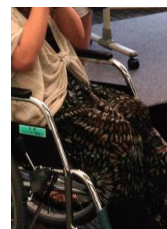
※1 自己免疫機能の異常によって起こる病気。発熱、倦怠感、筋痛、関節痛、体のこばり等が起こる。

体の痛みが取れて、よく眠れるように

少しでも良くなりたいと思っていたある日、以前購入していた遠赤外線加工寝具を思い出して、タオルケット、ベッドパット、シーツを使い始めました。

それからと言うもの、少しずつ体の痛みが和らぎ、よく眠れるようになりました。順調に回復していき、3ヶ月後には、ステロイド薬も弱いものに変わり、9ヶ月後には自力で立てるようになりました。その回復ぶりは、お医者さんが「何かやっているんですか?」と驚いたほどです。

さらに半年後にはステロイド治療が完全になくなりました。リウマチや高血圧の薬はまだ処方されていますが、薬を服用し続けることに抵抗があり、実はこっそり減らしています。それでも健康診断の数値は良くなっていて、血圧もほぼ正常値まで改善しました。



「健康は、お金とは引き替えに出来ない！」

岩手県在住 Y.K.さん 女性 72歳 2014.11.30



改善できた6つのこと

私は「遠赤外線加工寝具」を自分の体で試してみようと思い2013年10月30日から使い始めました。私がマットと毛布を使ってみて「改善できた」と思われるのは、次のことです。

- 1) 体温がたった一晩で、35度台から36度台に回復したこと。
- 2) 25年間服用していた睡眠導入剤を止めることができたこと。
- 3) 使い始めて2か月位して、朝起きたときのだるさと共に咳と痰と鼻汁が大量に出る日が1週間も続き、その後臭覚が戻ったこと。またその後も目ヤニもびっくりするほど出るようになって治まったこと。
- 4) 日中に疲れ果てても一晩眠ると、翌朝には疲れが残らずすっきりと目覚められるようになり、夜中トイレに立ってもすぐ寝入ることができ、眠りも深くなったと感じていること。
- 5) 2013年の夏、上半身に発疹が出て痒くて治りにくかったのが、「遠赤外線加工寝具」を使っているうちに、気づいたらいつの間にかほとんど消えていたこと。
- 6) 左膝をぶつけてできた大きなアザが、思いのほか早い1週間ほどできれいに治ったこと。

心も身体もボロボロに、健康はお金とは引き替えに出来ない

私は、教員でしたが、51歳の若年退職に追い込まれる程、随分病気もして体がボロボロでした。当時は平熱が35度台、体温を1度上げる壁は高くして半ば諦めていました。ところが「遠赤外線加工寝具」にたった一晩寝ただけで、魔法のように1度(35.8度→36.8度)上がったのは本当にびっくりでした。眠っているうちに36度台になるとはだれが信じられましょうか。それ以来随分楽になりました。もう一つ大きな変化は、睡眠導入剤を止めたことです。私は48歳の時乳癌を告げられ、それからは癌に勝つための毎日となりました。告知を前後して眠られなくなり、そのことが恐怖となって始めた睡眠導入剤は25年間離せませんでした。服用しても早朝覚醒で悩まされましたが、何とか眠るための命綱のように思って続けてきたのです。ところが「遠赤外線加工寝具」で眠れるようになってから睡眠導入剤を止められそうな気がしてきたのです。今思えば「遠赤外線加工寝具」がもたらす深い眠りが自信を持たせてくれたのでしょう。嬉しい気持ちで担当医に報告して、ついに止めることができました。

「〇〇さん、もうペースメーカーは不要ですよ！」

京都市伏見在住 E.Y.さん 62歳 主婦 2008.4.2



2007年7月のことですが、横断歩道上で左足指5本骨折と二ヶ所の捻挫をするという交通事故に遭いました。この交通事故の事もありますが、以前より不整脈なので医師からペースメーカーの使用を勧められていました。しかし、ペースメーカーの使用については、延ばし延ばしにしていた私でした。

ある日のこと、こんな状態の私ですが勇気を奮い起こし、松葉杖をついて散歩に出かけたのです。すると近所の知り合いの奥さんが、私の変わりをはた姿を見て声をかけて下さいました。その方は私を家に招き入れ、遠赤外線加工寝具のマットに横に

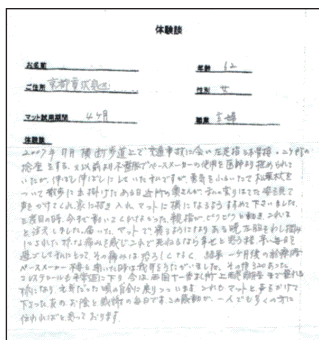
感激しました。きっと神様が私に必要な物と教えてくれたのではないかと感じて、早速注文しました。

この遠赤外線加工寝具のマットを使う前の私は、眠っていると、時折左胸を驚つかみされたような痛みを感じ、これで死ぬなら幸せと思うほど、辛い毎日を過ごしていました。届いたマットで寝るようになってから、辛い毎日を過ごしていたのが嘘の様で、今ではその痛みが恐ろしくなくなりました。

遠赤外線加工寝具のマットを使い始めてから一ヶ月後の検診時のことです。担当医の先生が検診結果を見て「もうペースメーカー不要ですよ」と聞いた時は、我が耳を疑いました。

その後、320までであったコレステロールも平常値に下がり、今は四国十一番札所醍醐寺(かみだいごじ)まで登れるようになり、元気だった頃の自分に戻りつつあります。

これも遠赤外線加工寝具のマットと声をかけて下さった友人のお陰と感謝の毎日です、この感動が一人でも多くの方に伝わればと思っています。ありがとうございました。



なるよう勧めして下さいました。その時、このマットはなんとなく私に良さそうに感じました。

その後も何度かマットに寝て体感させていただきました。体感が三度目の時です、今まで動いてくれなかった親指がピクピクと動き、

「糖尿病HbA1cが3か月間で13.6→6.2」

石川県金沢市在住 竹田昌生さん 50歳 男性 2021.9



初診時の結果をドクターが手書きで追記

金沢市で棚関係の仕事をしております。大谷社長とはロータリークラブが一緒で大変お世話になっております。日頃から暴飲暴食が祟り、体重も三桁になりました。そんな折、久しぶりに健康診断を受けてみたらなんとHbA1cが13、血糖値287の重度の糖尿病と診断されました。即食事制限と薬物治療に入りました。

その時、母親から「貴方が遠赤外線加工寝具に寝なさい。」と言われ、春に母親の為に購入した遠赤外線加工寝具を息子の私が使用する羽目に(笑)。寝てみると温かくぐっすり眠れるようになり、体調良くなった気がしました。

1ヶ月後、定期検診に行くときHbA1cの数値が10まで下がっていました。

主治医もこんなに下がるとは!と驚いています。現在使用して2ヶ月経ちましたが、先日の検診の結果、更にHbA1c8まで下がりました。

※2021年11月2日現在は6.2の正常値

こんなに糖尿病に効果があるとは、正直驚いています。

このまま頑張って正常値まで戻したいと頑張っています。

私の様な糖尿病で困っている方々にも教えてあげたい気持ちでいっぱいです。本当に有難うございました!

検査結果		1900/01/01~2021/11/02				
037944 竹田 昌生		男 昭和46年3月17日 50歳(2021/11/02現在)				
検査項目	基準値	単位	21/11/02 外来	21/10/01 外来	21/09/03 外来	21/08/06 外来
[院内]総タンパク	6.7~8.3	g/dL	7.4	7.1	7.5	7.1
[院内]AST(GOT)	13~33	U/L	20	17	22	27
[院内]ALT(GPT)	8~42	U/L	25	25	30	30
[院内]γ-GTP	10~47	U/L	44	58 H	62 H	57 H
[院内]推算GFR	60.0~999.9	mL/min	75.4	72.6	66.8	70.8
[院内]尿素窒素	8.0~22.0	mg/dL	10.3	11.2	10.8	9.7
[院内]クレアチニン	~1.00	mg/dL				0.90
[院内]尿酸	0.60~1.00	mg/dL	0.85	0.88	0.95	
[院内]尿酸	3.9~7.0	mg/dL	5.4	5.8	6.3	6.7
[院内]総コレステロール	128~219	mg/dL	232 H	233 H	255 H	220 H
[院内]HDLコレステロール	40~99	mg/dL	50	55	53	44
[院内]中性脂肪	30~149	mg/dL	138	161 H	188 H	142
[院内]LDLコレステロール	70~139	mg/dL	160 H	156 H	173 H	151 H
[院内]血糖	69~109	mg/dL	114 H	126 H	134 H	127 H
[院内]HbA1c(NGSP)	4.6~6.2	%	6.2	6.8 H	8.1 H	10.4 H

【本文記事より2か月後の2021年11月2日時点の健診結果】

「認知症の母と会話ができるようになった!」

奈良県在住 U.S.さん 80代 女性 2023.12



母は心筋梗塞を発症し、4ヶ月間の入院を余儀なくされました。回数だけリモート面会はできましたが、本人は看護師さんが見せるタブレットに映し出された家族の顔を見ることもなく、どこからか娘の声が聞こえるということに対して怒るように「なによー!」と答えるか、反応もなく、ずっと黙ったままでした。大変なことになったと思いました。退院時には、認知症が進行し、言葉もろくに話せない状態だったのです。

入院中の母は遠赤外線加工寝具のメディカルパット、シーツ、枕カバーを利用していました。すると、枕と接触する部分の白髪が黒髪に変わり艶も出てきたのです。このことを美容師さんに伝えたところ「確かに黒くなっているし、髪にコシが出てきている」と言われました。

以前の母は他人から身体に触れられることが苦痛になっていて、「痛い!痛い!止めてー!」と叫びながら拒否していましたが「遠赤外線加工寝具の何かを使えないかな?」と考え、ニット帽を裏返して鉾石の面を頭に当たるように乗せてみました。すると、母が大好きな『ドリフターズ』も退院してすぐの頃は眺めているだけだったのが、ニット帽を使用した数日後には番組を見せると笑うようになったのです。

遠赤外線加工寝具を使用するまでは母の口から出る言葉は「痛い!」「いらん!」ばかりでした。しかし、現在はゴミの回収車の音が部屋の中に聞こえてきたと思ったら「ゴミの回収日やな。何も手伝わなくてごめんな」と言うようになり、以前よりも通常の会話ができるようになっていきます。

先日「(前に住んでいた)家を見に行きたい」と言ってきて、緊急時しか車椅子には乗せてなかったのが「お母さん、それはまだちょっと無理やわ」と答えたら、母の方から「仕方ないな。我慢してあげるわ」と言ってきたので、その言葉にも驚かされました。「それなら座敷に連れて行ってください」と母が言うので、訪問看護の方が来られてから、車椅子に乗せて座敷へと連れて行きました。久しぶりに座敷の縁側から庭を眺める姿を見て、良かったなとしみじみしました。その座敷には仏壇があり、母がお参りをしていたので「仏壇を見て、何かお話しをしていたの?」と暫くしてから聞いてみたら「無事に退院できましたって言うた」と時間が経っても答えてくれたのです。入院生活のストレスで経口摂取ができなくなってしまい、胃瘻になった母は辛いことばかり続いて心身ともに悲鳴をあげているはずですが、母の発した言葉を聞いて涙が溢れました。

また、言語聴覚士さんに週に1度、訪問リハビリにきてもらっていますが、来られる度に「会話が良くなっている」と言っています。確かに高齢なので嚥下障害が酷くなってきていますが、退院時のことを思えば、今の回復は本当にありがたい限りです。

以上が、母が心筋梗塞を発症し、4ヶ月間の入院を経て退院したあとの状況です。これからも母と二人三脚で末長く過ごしたいと思っています。遠赤外線加工寝具の製品を作ってください、本当にありがとうございます。このまま母が益々改善していくことを願う毎日です。

「心と身体の健康の軸になるアイテム」

栃木県在住 植木秀治さん 2023.5.2

私はつい昨年『遠赤外線加工寝具』と出会い、その素晴らしさに感動して、それまで経営していた保険代理店から業種替えし、予防医学の会社を経営し始めたほどの大ファンです。

私が経営していた保険代理店は、栃木県北ではトップになる成績を取っていましたが、怪我や病気をしてから、死亡してからお金をもらえるようにしても、それは本当の幸せとは言えません。しかし、遠赤外線加工寝具で心も身体も健康になり、保険など必要のない毎日を送ることは、まさしく本当の幸せです。

自分でも遠赤外線加工寝具を使っていますが、腰・膝を痛めていた母が最も実感を感じました。それまで立ち上がるのにも、歩き出すのにも苦勞するような状態だったのが、3点セット（敷き・シーツ・上掛け）と膝サポーターを使い始めて1か月程たった頃、母がスッと立ち上がり、スタスタと歩いていたのです。しかも、しばらく乗れなかった自転車に乗って出かけることができました。

「楽に動けるようになって良かったね!」と声をかけると、母も「あれ! ホントだ!」と今気づいたかのように驚いていました。

次は膝の痛みで、散歩ができなくなっていた義理の母です。母同様、3点セット（敷き・シーツ・上掛け）と膝サポーターをプレゼントしたところ、すぐに「今まで通り散歩できるようになった! ありがとう。」とお礼の電話が。義理の母は膝以外は健康だったので、遠赤外線加工寝具による損傷の修復作用が強く働いたのでしょう。

私は、遠赤外線加工寝具を使い始めた時に本当の健康が始まると考えています。着けているだけで、寝るだけで、病気や怪我が治る、痛みが消える、寝やすくなる、という誰でもできる、無理がなく、続けやすい健康法は、私や私の家族、親族、そして私と出会う人のすべてに、本当の幸せを享受してくれるでしょう。



「父の病気が良くなりました」

千葉県在住 妻島寿夫 2023.5.2

遠赤外線加工寝具に出会ったのは2013年の夏、展示会です。そのブースで座らせてもらって、メディカルケットを上から掛けてもらいました。その時の体験で感じたのは暖かい雰囲気です。精神的に落ち着くみたいな感じです。それから努力もする必要なく寝ているだけで体調が良くなり、いつの間にか10年経っている感じです。遠赤外線加工寝具をずっと使わせてもらっているのと同時に、父親にも買う機会が訪れました。それが2016年、父親が硬膜内髄外腫瘍で歩けなくなった時のことです。その原因がわからなかったため、最初は代替療法とかやっても良くならなかったの

で、地元の脳神経外科に受診して大病院の紹介状を書いてもらいました。それから日本医科大学千葉北総病院の先生に相談して手術していただく事になったのです。そういう中で父が入院したのは45日間だったんですけど、実はその前段階の4月の時点で父親にも3点セットをプレゼントしました。父の手術は10月だったので半年間、基本の3点セットで寝てもらった準備期間があったので今は歩けるようになっていきます。



「要介護4から1に回復!?!」

東京都在住 菊地三佳さん 2023.5.2

私には体の不調を抱えた84歳の叔母がいて、体の方も要介護4という形で施設に入っていました。しかし「1人暮らしをしたい」と言っていたので、その叔母に使わせたいと思って購入しました。ただし、施設に入っていたので、寝具の持ち込みが難しく、まずは枕を届けました。それから2週間利用し、要介護4だった叔母は1年経たずに要介護1になりました。実は使用して1ヶ月弱で、枕紛失事件というのがありましたが、それまでの短い期間の間で既に自分で食事が摂れ、お風呂に入れるようになっていたりしていたんです。その後、枕が叔母のところへ戻ってきて、首から上の部分にも絶大な効果があるなと思いました。

要介護4の状態と1の状態と比べると、身体的なところで言うと4は手足の部分が自力では立ち上がる事ができない車椅子の状態だと思っていたら間違いありません。それが意識的なところになれば、認知的な事が出てくる方もいます。叔母の場合、記憶の

部分は意識的なものの混濁や、わからなくなるような事はなかったんですけども、時折忘れるような状態がありました。そこから遠赤外線加工寝具のおかげで現在の要介護1の状態になり、叔母は自力で立って歩行ができ、サポートを受けた形で生活を営んでいけるところまで回復。施設の2階から1階への移動も1人でできています。食の部分に関しては、脳の部分に血流と神経的なものの助けを得たと思うんですけど、少し使っていない期間があったのにも関わらず、それが不思議でした。でも、また使う事ができたので常に回復方向に向かっていきます。叔母は遠赤外線加工寝具以外で努力していることが何もなく、まだ継続中なので、これからどうなっていくのか期待は大きいです。元気になっていったので逆に寿命が長くなると考えて、色々に対応しなければいけないなと思いました(笑)。



「期待以上に髪が復活、ニット帽ばんざい！」

石川県在住 M.A.さん 男性 41歳 2008.11.26

私は、特に自分の髪の毛の事など気にしないで過ごしていました。そんなある日のこと、家族に「頭のでっぺんが、薄くなってない？」と言われ、自分で合わせ鏡を使って自分の頭を見て触れて確かめてみると、何とカッパのようになっているではありませんか、とても驚きその時はかなり動揺し、へこみました。まさか、自分自身がこんなになるとは… 夢にも思いませんでした。

〇〇〇21とか、アデラ〇〇などは、お金もかかりそうで、この状況をどうしたらよいのか…と考えていたところ、今年10月初めに、PMC が育毛に良い「ニット帽」を新発売することを知りました。私は5年ほど前から、PMC のマットを使用しており、持病の腰痛が改善されすごく効果があることを実感していました。そんな訳でおそらく「ニット帽」でも血流が良くなり、育毛に効果があるのではないか…と思い、早速注文したところ、10月5日には商品が届きました。自宅に届いた「ニット帽」をかぶったところ、数十秒後には、頭がポカポカしてきて、自分自身で血流が良くなっているのを感じたことを覚えています。私はどちらかと言うと寝つきは元々良い方なのですが、「ニット帽」をかぶって眠るとさらに寝つきが良くなり、直ぐに深い眠りに誘われ、いつも熟睡しています。おそらくこれはマットとの相乗効果だと思います。使用しは

じめて1ヶ月ぐらい経った頃ですが、毛が薄かった場所が生えはじめてきました。約2ヶ月ぐらいして、全体的に毛の密度も濃くなり、とても嬉しいです。世の中には薄毛に良いとされる育毛剤などは沢山あり、薄毛で悩んでいる人もたくさんいると思います。けれど、それらを試し、なかなか効果が現れなくて悩んでいる人も沢山いると思います。そういった中で、私は最初がいい商品に出会い、しかも短期間で自分が期待していた以上の効果が現れたので、とてもラッキーだと思っています。家族もこの変化に大変驚いています。育毛と同時に気持ちまでも前向きになり、私としては今後がすごく楽しみです。

2008.10.5 より使用開始

使用後約1ヶ月弱(10/22)



使用後約2ヶ月弱(11/25)



「集中力アップで90点以上の成績で合格！」

東京都在住 T.M.さん 男性 20歳 (会社員) 2006.2.1

2006.12.15に頂いたお手紙

遠赤外線加工寝具に寝て1ヶ月が経過しました。とにかく朝起きると今まで使用した寝具とは違い、目覚めが凄く良く、前日の疲れが凄く取れることにまず驚きました。私は今、職業訓練校の電気・通信工事科に通っています。今まで自分はこんな難しい勉強にはついていけないと思っていたのですが、この遠赤外線加工寝具のマットに寝て学校の教科書を見ると、「なんだ、自分も頑張れるぞ！」と思えたのには驚きました。また、「自分には絶対できない」、「受からない」と思っていた今、学校で行っている国家資格の電気工事担当者の勉強が凄く簡単に思えた時は自分の脳波の凄さに驚きました。このとき思ったことは遠赤外線加工寝具があればどんな難しい資格でも取得できる力が自分に備わるという実感です。あと体重が激減いたしました。59kg→52kgまで落ちました。余分な脂肪が燃焼した為だと分かりました。随分温厚になりました。以前はちょっとしたことで怒ってしまっていたのですが遠赤外線加工寝具に寝てから自分をコントロールできるようになってきました。どうもありがとうございます。それと最後に、、、人に感謝できるように

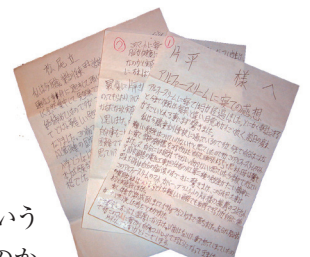
なってきました。脳が健康になるということがこんなにも素晴らしいことなのかと実感いたしました。「世界中の人たちが遠赤外線加工寝具で寝れば完全に世界平和が実現するんだ」と思いました。

2007.1.24 国家試験を終えて感想文

私は学校(電気・通信工事科)の勉強が凄く難しく、全然集中もできず、この道を諦めかけていたところでした。ところが遠赤外線加工寝具で寝始めてからどんな難しい勉強も頭に入り、どんな勉強も苦にならなくなりました。先日国家資格の電気工事担当者のAI 第3種の国家資格を受けました。以前は20点の模擬テストの点数だったのですが、本試験ではなんと技術科目と法規科目が90点以上で合格でした!



何度かお会いしていますがお会いするたびに表情も穏やかになっています。



「眠っている間に毛細血管が変化し理想の身体に変身！」

東京都在住 Y.S.さん 女性 37歳 2011.10.18

お気に入りのベッドパット、タオルシーツを愛用して約4ヶ月が経ちました。私の身体に起こった変化は・・・。

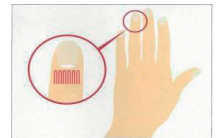
- ★痩せた (体重-2kg、体脂肪率はなんと-4%で現在19%)
 - ★髪の毛に艶がでて伸び方も早くなった
(成長ホルモン増加のため)
 - ★基礎体温が平均36.4度から36.8度に上がった
 - ★体温上昇と代謝アップで運動効率が良くなりトリートメント(マッサージ、エステ)等の結果も一度ですごく出ることと、その後の維持もしやすくなった(バストはDカップ→Eカップへ)。
- といった感じで短期間に目覚ましい変化を体感することができました。特に37歳の私にとって体脂肪率19%を維持することは難しいことです。外食もしますしお酒も多少飲みますが今は大きな変動もなく体型を保っています。

体重は-2kgでしたが周りの人達からは5kgくらい痩せたように見えると言われて自然と笑顔でいることも増えました(^^)v また私は以前からヨガや瞑想のトレーニングをしていますが、睡眠の質が良くなったおかげで集中力が上がり感性が研ぎ澄まされ、より深く上質な瞑想ができるようになりました。それによってとても穏やかで健やかな心の状態で

過ごせていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

大谷社長がおっしゃっているように、人は誰でも必ず毎日眠ります。その時間をこんなに有効的に活用できるお気に入りのベッドパット、タオルシーツをもう手放すことはできません。

本当にありがとうございました(^O^)



●毛細血管像
(血管の丸み、伸び、モヤモヤ感に注目)

使用前(2011.6.10)



使用后(2011.7.29)



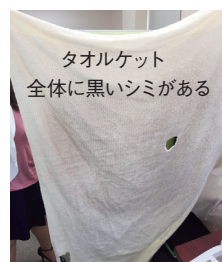
「喘息の発作とアトピーから抜け出し、夢に向かう」

宮城県仙台市在住 N.S.さん 40代女性 2015.6.7

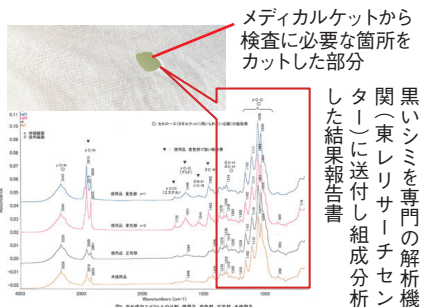
現在18歳になる息子は、幼少期からアレルギーが酷く、喘息・アトピー・鼻炎で毎週のように病院に通い、薬漬けの毎日でした。息子が薬を飲み続けるのが辛くて、飲んだ薬を直ぐに吐いてしまうほどで、このままではマズイと思い色々試してみたものの、なかなか効果の出るものはなく、結局は薬に頼る生活でした。

そんな中、息子が15歳の時に遠赤外線加工寝具と出会いました。早速試してみたところ、3ヶ月位経ったある時、喘息の発作が出ていない事に気付き、本人も「最近苦しくならない」と言い始めたのです。半年後ぐらいには発作が起こった時の為の吸入器だけになり、今ではその吸入器の出番も殆どなく

なりました。治療のためにステロイドを使い続けたアトピーもなかなか良ならず心配でしたが、タオルケットを使い始めて2年が過ぎた頃、下に敷いていたタオルケットに黒いシミが付いているのに気付いたのと同時に、アトピーが良くなってきているのが分かりました。特に傷だらけだった背中がキレイになり、酷かった所も徐々に範囲が狭くなって、今では全身に使っていたステロイドも部分的になり、保湿剤だけで済むことも多くなりました。病院に行く回数も確実に減ってきています。



タオルケット
全体に黒いシミがある



メディカルケットから
検査に必要な箇所を
カットした部分

黒いシミを専門の解析機(東レリサーチセンター)に送りし組成分析した結果報告書

そして、幼稚園の頃から夢だった動物園の飼育員になるために動物の専門学校に通い始めましたが、懸念していたアレルギーも酷くならず、学校生活を謳歌しています。

この遠赤外線加工寝具のお陰で、体調が良くなったばかりか夢まで広がり、本当に感謝しております。

この遠赤外線加工寝具のお陰で、体調が良くなったばかりか夢まで広がり、本当に感謝しております。

「良すぎて返品できません!パーキンソン病の母にもすごい変化が!」

兵庫県在住 Y.S.さん 50代女性 2011.11.30

更年期が原因のむくみなのか、私自身、何とも言いようの無い体の重さを日々感じていました。せめてふさいだ気持ちだけでも何とかならないかと思い、この遠赤外線加工寝具にたどり着きました。合わなければ返品できる、というので思い切って使ってみることにしたのですが、良すぎて返品できません!むくみが出やすい時に使用すると解消されるのはもちろん、体調や肌の調子も良くなり、情緒的に安定して過ごせているのが自分でもわかるくらいです。

これはきっと病人にはとても良いだろうと思い、施設でお世話になっているパーキンソン病の母にも使ってみることにしました。薬が効かず体が固まってしまっているのを、万能掛けパットを掛けてマッサージしたところ、5分くらいで顔がお風呂上りのようにうっすらとピンク色になり、手が柔らかくなったように感じたのです。ヘルパーさんからも車椅子への移乗が軽くなったと言われました。そして、体を揺ると頭がグラグラと揺れ、手を握って上下させるといつもより抵抗感がないと言うのです。いつもは蠟人形のように首と方が一体化してガチガチの母が…です。後日、いつも母の喉の動きなどを見て下さっている言語聴覚士の先生も「今日は首が柔らか

い。痰が無くなって、喉の細菌の数値も減っている。」と驚いていたと聞きました。

母が病院を受診する日、待合室での待ち時間に帽子を被せ万能掛けパットをかけてマッサージをしました。最初はカチカチに固まっていた体が次第に柔らかくなり、胸の上で固まっていた左手がお腹まで下がり、掌や指をマッサージしていたら、握りしめていた手が柔らかくなり開いたのです。体が柔らかくなったので、またしっかりと座り直させる必要があるほど全身がグニャグニャになったのです。先生に「今開いたんです!ほらっ」と握りしめた手の中に溜まっていた垢を見せると、先生も信じるしかない状況でした。介護タクシーの運転手さんも、施設のケアマネージャーさんも、病院に行く前との様子の変化に驚いていました。

足を骨折し手術した主人、発達障害の息子、太り過ぎてメタボの弟…返品どころか思い切って皆にも買う決心をしました!



「終末期宣言を受けたのに、奇跡の生還をしました!」

福岡県在住 M.U.さん 58歳女性 2008.10.2

今年の6月末、主人が入院している病院の主治医の先生から「ご主人の容態が悪くなったので、来て下さい」という緊急の電話があり病院に駆けつけると、「ご主人は終末期です」と告げられました。敗血症で「これ以上の治療法はないです」と先生に言われ、鉍石が入った寝具を使用させてもらえないかとお願ひし、許可を得て全部で9枚の遠赤外線加工寝具を持ち込み、使用しました。すると10分も経たないうちに呼吸が静かになり、1時間もすると冷たかった足も温かくなり、翌日、ICUからHCUに、5日後には何と一般病棟に変わることができ、その後、現在に至るまで主人の病状は安定していて、会いに行き様子を見るのが楽しみ毎日です。



3回洗っても黒いシミが残る

今から2年8ヶ月前、主人は犬の散歩から帰って来た際、犬小屋のところで転倒して頭を強く打ちました。その時は病院に行かずに様子を見ていたのですが、2か月くらい経った頃、主人の様子がおかしいので病院を受診したところ、硬膜下血腫と診断され、すぐに手術となりました。手術後、主人は大声で叫

ぶようになり、退院後もパニック障害を起こして夜も全く寝ない状況になり、精神病院に入院したこともありました。精神病院では強い睡眠薬を飲まされ寝ているだけの治療だったので、私はその状況にとても耐えられず自宅に連れて帰ることにしました。そのうち介護施設に入所できることになりましたが、主人は大きな声で叫ぶので、またいつ退所させられるかと心配の毎日でした。

手術から半年ぐらいて、介護用お風呂を購入する目的で健康福祉展に行ったのですが、そこでこの遠赤外線加工寝具と出会いました。会場でタオルケットを試した日の夜、久しぶりにぐっすり眠れたことも、主人にも使わせてみようと思購入し使ったところ、10分ぐらいて眠りにつき、それから1年以上静かに過ごせました。しかしその後、食べ物に詰まらせてしまい、点滴だけの生活だったり、胃瘻の手術で入院した病院で肺炎にかけ、床ずれしてしまうという理由で持ち込んだ寝具を使わせてもらえなくなったりで、病状が悪くなってしまいましたが、そんな折、新たにベッドパットが発売され、入院中も許可が出て使えるようになりました。終末期宣言から3ヶ月、今、安定した状態でいられるのは遠赤外線加工寝具との運命的な出会いがあったからだと思っています。

「寝ているだけで!? 耳が聴こえるようになった!」

三重県在住 Y.Y.さん 80代女性 2018.12

自分では、健康にも気を付けているし、どこも悪いところもないだろうと思っていました。でも、やっぱり年齢的なのか、すごく耳が遠くなっていました。



大好きな『西郷どん』を家族と一緒にリビングの大きなテレビで観ているのも全然聞こえないんです。そこで自分の部屋で、テレビに近づいて大きな音量で観ている生活でした。

そんな私に友人が遠赤外線加工寝具を勧めてくれました。そして、それを使い始めて一週間経った時、いつもは聴こえない息子夫婦がしゃべっている声が聞こえるんです。今日はなぜ大きな声でしゃべっているんだろう?と思うほど会話が聞こえるのです。ふと気が付くとリビングのテレビの音が聴こえてきたんです。音量を確認したところ、いつもと同じだったんです。

「ただ寝ているだけで!? 一週間!? 耳が聴こえるようになったー!」家族と一緒にリビングのテレビが観られることが嬉しくて…。この寝具と出会って本当に良かった!、と紹介してくれた友人に感謝しています。

「これ、本当に君の腎臓かね? …と医者に言われました!」

新潟県在住 20代男性(会社員) 2008.2.8

以前より腎臓病を患っており、慢性の腎臓病はほとんど治らない病気と医者から聞いております。当然、治らない病気なので精密検査の数値は下がる一方…とうとう、腎不全になり、家族からの生体腎移植をしました。別の体内からの移植のため、一生の薬生活・一生の病院通い、いずれ人工透析の生活になります。精神面も弱くなってしまいう事もありました。そんな時、遠赤外線加工寝具と出会い、タオルケットを肩からかぶり、半ば眠くなってしまいう中で、自分の腎臓部がぼかぼかと熱くなっているのを感じました。もしやと思い、何か体によければ!という気持ちでタオルケットを就寝時に継続して使用しました。使い始めてからまだ1ヶ月も経たないある日、精密検査の結果、医者も驚くような事があったのです。「良くなっているよ! これ君の腎臓かね?」と言われたのです。悪くなる一方のはずの検査結果が、なんと!ほとんど移植当初の値になっているのです。

タオルケットの使用期間は1ヶ月もないくらいで…医者も自分も驚きでした。

11	アミラーゼ	83
12	クレアチニン	1.09
13	尿酸	4.8
14	尿素窒素	1.0

「施術には欠かせない存在に! 生理痛も改善!」

群馬県在住 Y.S.さん 30代女性 2008.12.26

自然治癒力を高める鉱物や植物のエネルギー



私はアロマセラピストをしています。サロンでは自然治癒力をコンセプトにしているので、可能な限りオーガニックの生命力の高いものを使用しています。他にも鉱物の配合されたクリームを使用し、自然治癒力を高め身体の歪みを改善させてゆく経絡セラピーの施術を行っていて、スタイルや身体の不調を改善させていくのに鉱物や植物のエネルギーがすばらしい効果を出してくれることを日頃から実感していました。鉱物がプリントされた寝具などがあれば、もっと施術の効果が出やすくなるのでは?と想着るところに遠赤外線加工寝具に出会い、思い切って購入し施術で使用してみることにしました。施術のときはベッドパットと膝掛けを使用していますが、お客様が眠りに入る早さや、深さ、身体の温まり方や筋肉のほぐれ方など、以前との違いを実感しています。

生理痛も改善し、やる気が倍增

施術で実感した寝具を自分でも使用してみましたが、一番効果を実感したのは鎮痛剤を飲んでも効かなかった生理痛です。この寝具で寝るようになってから痛みが減り、今では鎮痛剤はほとんど必要無くなりました。改めて自然と(鉱物)と人間の繋がりを強く感じ感謝しています。

「メニエール症候群~30年間の 苦しみがようやく解放されて!」

北海道在住 S.F.さん 60代女性 2011.8.9

30代の時、第2子を出産した頃から、突然のめまいと吐き気で起きていられなくなり、一週間は家事が何もできなくなり、横になっているだけでした。病院で診察を受けるとメニエール症候群で、死ぬまで治らない病気と言われ、とても不安でした。症状が出ると、3週間の点滴、ひどい時は入院となり、何も食べられず、布団から起き上がることも出来ない状態が年に2~3回はありました。今年の1月に妹に遠赤外線加工寝具を勧められ、借りて試すことにしましたが、健康にとっても不安があったので、自分でタオルケットとベッドパットを買って使うことにしました。使い始めて2ヶ月経った頃、また症状が出たのですが、病院に行くのが辛かったので翌朝までこの寝具で寝て、恐る恐る起きてみると、なんとめまいも吐き気もなくなっていました。



30代から30年以上も苦しんでいた病気は、現在起こらなくなり、元気で暮らしております。疲れたなと思ったら、日中でもベッドパットに横になり体のバランスを整えながら、洋服・畑仕事にと動き回っています。

「喘息、動悸、不整脈がなくなり …9年ぶりに赤ちゃん出産」

宮城県在住 H.O.さん 30代女性 2009.10.28

苦しい発作より解放されました

私は以前から、疲れると動悸や不整脈が起り、さらに風邪をこじらすと喘息発作が出て苦しい思いを何度もしてきました。そのこともあり、2人目の子供はあきらめていました。ある時、主人の勧めで遠赤外線加工寝具を使い始めたところ、1ヵ月後には動悸、不整脈が無くなったのでした。苦しかった喘息発作もウソのように無くなりました。



天使がやってきた!

この寝具を使い始めて3ヶ月後に、9年ぶりに自然妊娠していることが判りました。妊娠中の経過や体調も良く、ひと晩寝るとむくみも引いて、妊娠中の体重管理も上手くできました。また腹巻をしていると胎児もとても元気がよく、母子共に健康で無事出産できました。産後も体型がすぐ戻り、夜中の授乳による睡眠不足も、短時間の睡眠で疲れがとれるため、元気に育児ができています。我が家に健康と天使を運んでくれたこの寝具にとっても感謝しております。

「4ヶ月も続いた足の痛みが、 一晩で消えた!」

福岡県苅田町在住 H.S.さん 男性 2015.3.26

2年ほど前のある日、愛犬を散歩に連れて行こうと玄関を出た瞬間、はしゃぐ犬に引っ張られ、コンクリートの階段を前のめりに転倒してしまいました。あまりの痛みで声が出せず、立ち上がれないほどの状態で、医師の診断は「靭帯損傷」と「軟骨が擦り減っている」でした。毎週ヒアルロン酸の注射と2週間に1回水を抜く治療を続けてきましたが、痛みは治まることなく、右足大腿部前面も腫れたままでした。

ケガから4ヶ月後、知人の紹介で遠赤外線加工のサポーターを知り、この痛みが少しでも和らぐなら…という思いで購入し、早速装着してみました。すると1時間ほどで痛みが減少するのが分かり、さらには24時間後の昼にはほとんど痛みがなくなり、足を引きずることなく普通に歩いたり、手摺を使わずに階段を上り下りできました。4日後には軽くですがあぐらを組むことも出来ました。病院に行かなくてよかったこと、痛みがないことがありがたいです。お陰さまで仕事に支障がなくなりました。



足がパンパン

わずか4日で水がぬけ、しわができました。

サポーターを使い始めた日

5日後

「薬では治らなかった 線維筋痛症を克服!」

岩手県在住 K.S.さん 女性 2017.3.4

今から7年前に線維筋痛症を発病しました。筋肉・腱の痛みはレントゲンやMRIでは写し出されないのなかなか診断してもらえず、5年目で専門医を見つけるまで12か所もの病院を回りました。この痛みが分かる先生にやっと巡り会え、線維筋痛症と診断され治療を始めることができました。



しかし、治療を重ねていくうちに薬では限界があることに気づき、「自分の免疫力で痛みを軽くすることはできないだろうか?」と思い始めていました。そんなある日、『100歳まで元気でぼっくり逝ける眠り方』という本に大変興味を持ち、著者である大谷さんと片平さんのお話を聴きに行きました。「痛みと苦しさで2時間しか眠れず目が覚め、体を動かしてまた2時間眠るという生活が6年間も続いています」と伝えたところ、遠赤外線加工寝具をサンドイッチ状態で使うのが良いということで、紹介されたマットとタオルケットを半信半疑で1週間試してみました。2日目から痛みが軽減し、だんだん睡眠時間も長くなり、夜中に起きることはなくなりました。「このまま痛みがなくなればいい」という思いで、マットとタオルケットを購入し、使い続けました。家にいる時はひざ掛けを体に巻きつけています。そして、使い出してから、2週に1回の通院が5週に1回に減りました。この寝具を使うようになって、活力が湧き上がるようになってきて、仕事にも挑戦してみようという気持ちになったほどです。

「寝ている間に、健康で シミも消えてキレイに!」

京都府京都市在住 H.U.さん 女性・デザイナー 2013.11

遠赤外線加工寝具を使い始めて2ヶ月が経った頃、シミが濃くなったので鏡を見ない様になりました。それから3ヶ月経過した頃、鏡を見てビックリしました! シミが消えるほど薄くなっていました!! どの写真にも写っていたシミが写っていないのです。また、小鼻の黒い毛穴もいつの間にかキレイになっていました。肌もキメが細くなりました。寝ている間に身体がキレイに改善されて、健康になる喜びを感じています。



使用前(2006年頃) 使用后(2012年現在)

40年来、左の頬にある2.5センチ程のシミが消える程薄くなりました。

今日まで、人との出会い、物との出会いを大切に生きてきました。この寝具との出会いは『神様の贈り物』です。これからも大切にしたいと思っています。

「失明の危機から私を救ってくれた寝具は最高！」

岩手県在住 K.S.さん 男性 2016.11.4

2年前に黄斑変性症を患い、月に1回眼球に注射をする治療に通っております。病院の先生によると、「加齢に伴う黄斑部の老化と、紫外線の当たり過ぎやテレビ・パソコンから出る青色光によるダメージ等が大きな原因でしょう」ということでした。一度発症すると治りにくく、失明する可能性があるとの宣告を受けました。心配ばかりで、何か良い方法はないかと思いついていたところ、遠赤外線加工寝具に出会うことができました。早速、ベッドパット・タオルケット・アイマスクを使い始めましたが、その後4ヶ月も注射なしの嬉しい結果が続きました。それはもう大変な喜びでした。他にも

- ・眼だけでなく鼻詰まりも*アイマスクのお蔭で改善 ※製造終了
- ・血圧も150~160が120~130へと下がった
- ・体温も35.4度が36.5度へと上昇

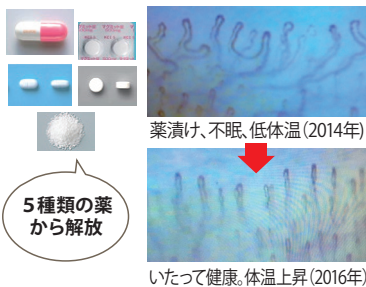


体が温まり、すぐ眠れて、熟睡ができて、気持ち良く目覚められて、これ以上ない至福の喜びですよね。'免疫力、免疫力'と唱えながら毎日布団に入るのが楽しみです。

「翌日から頭痛が消え、薬マニアから薬ぎらいに」

岩手県在住 S.O.さん 56歳男性 2014.3.10

私はコンピューター関連の仕事をして35年になります。毎日、パソコンに向かう仕事ですが、連日の徹夜で体調を崩したり、ストレスで精神的に追いつめられることもしばしばでした。時には、急性胃炎・膀胱炎・尿管結石などが重なり、「自殺して楽になりたい」と思う事さえあったほどです。目の疲れや頭痛、肩こりは慢性化。運動不足やストレスによりおなかが張ったり便秘になったり、様々な症状で通院し、薬を常用する生活でした。そんな中、遠赤外線加工寝具と出会い、人体に良い周波数帯の医療機器で信頼できる上に、ただ寝るだけというのもポイントで、即購入しました。マットを使い始めた翌朝から目覚めがスッキリで、肩こりや頭痛も軽くなりました。すごく不思議な体感でした。こんなに早く効果が出るなんて思いもしませんでした。風邪もひきにくくなり、便秘も改善し、おなかも張りにくくなりました。2日目から薬は止めました。今まで薬オタクだった自分が、今では薬は害だと思っています。薬は使い様です。もちろん必要な場合はあります。しかし、まずは予防として免疫力を高める効果のある遠赤外線加工寝具が良いと感じています。



「脳梗塞の後遺症(激痛)が軽減！」

山形県在住 Y.S.さん 男性 2019.2

脳梗塞で倒れた私の妻は、8時間にも及ぶ大手術を受け一命を取り留めましたが、手術後、左上肢・下肢機能障害で要介護5となりました。デイサービス・訪問介護やリハビリなどにもお世話になりながら、自分の事は少しでも自分でできるようにと病氣と闘っていますが、脳梗塞の後遺症で体中の激しい痛みで、激痛を和らげるため一晩に何度もベッドから車椅子に移動させる日が続いていました。そのうち認知症と診断されました。しばらくして、体温を上げて血流を良くすることが睡眠には重要という話を聞く機会があり、冷え症の妻が安眠できるようにと、勧められた遠赤外線加工寝具を妻に試してみることにしました。驚いたことに使い始めて2ヶ月で体温が上がり、血圧も安定してきました。一番驚いたのは、激痛による車椅子への移動が減り、介護の負担も減ってきたことです。今は夜もゆっくり安眠できるようになりました。



この“眠るだけの健康法”で妻の健康を取り戻せる希望を与えてくれたことに本当に感謝し、眠りに苦しんでいる方々にも健康の輪が広がれば幸いです。

「生きる力をくれた寝具 ~円形脱毛症からの脱却~」

愛知県在住 M.S.さん 70歳女性 2019.11

2017年4月頃、いつもより抜ける髪の毛の量が多い日が続き、季節の変わり目だからかと思っていたところ、3ヶ月ぐらい経ったある日、突然、髪の毛がどっさりと抜け落ち、今まで味わったことのない恐怖を感じました。

皮膚科で診てもらおうと「ストレスからくる円形脱毛症」と言われました。薬を飲み続けることになりましたが、はっきりとした原因が分からない不安の中、髪はどんどん抜けていきました。

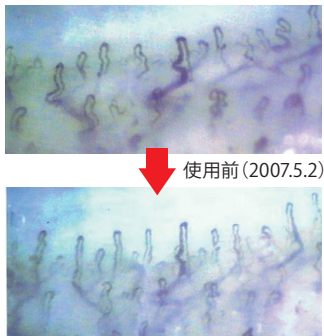
薬の嫌いな私は、薬を飲まずに治す方法はないかと円形脱毛症について色々調べ始めていたところ、“遠赤外線加工寝具が身体にも髪の毛にも良い”と聞き、薬にもすがすがしい気持ちで寝具一式に包まれて眠り始めました。そしたら、どうでしょう、自然と髪の毛が生え始めました！遠赤外線加工寝具のお蔭で、髪の毛が徐々に増えていく喜びを感じ、寝具というのがどれだけ自分の体に大切なのかを実感しました。2年経った今、行きつけの美容院の方に、「薬を使わずに自然に元気で若々しい髪の毛が生えることも凄いです、来店する度に髪の毛がしっかりとってきていることも考えられない。」と驚かれています。



「35年間34.5℃の超低体温の私が正常値に！」

埼玉県在住 M.K.さん 58歳女性 2007.6

若い頃から様々な病気をしてきたため、大量ステロイドの投与も受け、一命を取り留めたのですが、その後、後遺症に苦しんでいるうちに「左大腿骨骨頭壊死」「慢性腎臓炎」を患っていました。超低体温で冷え、体温調節が機能していませんでした。



使用前(2007.5.13)

あちらこちらの病院をわたり、東洋医学的なこともいろいろやっています。そしていつも健康情報にアンテナを張り巡らしているお陰で、やっと遠赤外線加工寝具に辿り着くことができました。

初めてサロンを訪れ、毛細血管の観察でびっくり！ タオルケットを羽織ると勢い良く血液が流れ出すのです。体温を測り、またびっくり！ 病気のある左はとでも低く、使用前34.5度だった体温が、使用后36.2度になっているのです。電気を使わずに身体が温かくなるのが凄いです！ 早速購入して5日目、ベッドから出た時の体温を測ると36.2度ある。足がつることもなくなり、かなり良い眠りを得られています。眠っている間に血流も良くなり、健康になれるなんていいですね。これで私も私の周りの大切な方々も、もっと元気になってHAPPYになれます。

「脊柱管狭窄症から、歩けるまでに回復」

愛知県在住 H.S.さん 80代女性 2018.9

3年前に脊柱管狭窄症と診断され、それから家の中でも杖は欠かせず、ソファから立ち上がるのも大変で、10歩先のトイレに行くにも何かつかまって歩いて、やっとたどり着くという感じでした。それでも日々少しずつ良くなり、杖をつけばバス1区間ほどは歩けるようになりました。ところが昨年、よく歩いたのが裏目に出たのか、また腰痛がひどくなり、立ち上がるのも杖を使わなければならないほど足腰に力が入らなくなりました。

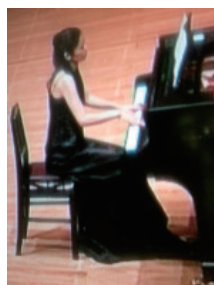


そんな時、娘が遠赤外線加工寝具のマットを購入し使ったところ、「朝起きるときの体のこわばりがなくなった」と言ってくれて、私にも同じマットを買ってくれました。初めてそのマットで休んだ翌朝、腰痛がないことに気がつき驚きました。起き上がる時も、ベッドの横の棒にしがみついても体を起こしていたのが、軽く起き上がることができました。それからまだ1ヶ月ほどですが、腰痛は起きておらず、足取りも軽く、今は家の中では杖は必要ありません。一時は加齢と病気のせいで「もうだんだん歩けなくなるのかな」と落ち込んでいましたが、今は「まだまだ自分の足で歩いて生きられるぞ」と、毎日痛みのない体とマットに感謝して過ごしています。

「卵巣嚢腫の悩みがなくなった！魔法の寝具に感謝！」

富山県在住 T.S.さん 女性 2013.3.27

3年前に卵巣嚢腫と診断されました。それから処方された薬を飲み続け、直径9センチほどに腫れていた卵巣が1年半ほどかけて直径6センチほどに小さくなりました。しかし、その頃受けた血液検査(腫瘍マーカー)では、診断時に正常だった2つの項目が異常値になり、子宮内膜症と診断されてしまいました。半年後には更に数値が上がっていました。



薬を飲み続けているのになぜか腫瘍マーカーの値は高くなるばかりで、どうしようもない状況に不安な日々を過ごしていた今から9ヶ月前、この遠赤外線加工寝具に出会いました。使い始めてから3ヶ月後、2つの数値のうち、1つが正常値に！半年後にはどちらの数値も余裕の正常値になっていました！小さくならず停滞していた卵巣の腫れも、なんと、直径3センチほどの正常な大きさまで小さくなりました。あつという間の出来事でした。魔法の寝具に感謝するばかりです。

検査結果リスト

■患者コード 11318		富山 男子 様 女性 昭和52年5月14日					
グループ	項目	基準値	H25.02.26	H24.09.04	H24.02.15	H23.10.18	H21.11.10
		(F値)~(L値)	1回15時(外)	1回15時(外)	1回11時(外)	1回16時(外)	1回0時(外)
免疫学的検査	CEA	~5.0				0.2	
	CA125	~35	28	40↑	151↑	112↑	15
	CA19-9	~37	25	36	75↑	48↑	11

「親子の関係に限界！家庭崩壊寸前からの脱出！」

岩手県在住 A.K.さん 40代男性 2014.2

小学校の入学式の後、先生やお友達、父兄の方々が初めて顔を合わせる教室で、奇声をあげて机の上に立つ息子がいました。何かおかしい…定期的に受診をし、親子でカウンセリングを受けながら様子を見ること4年、ADHD(注意欠陥障害)/LD(学習障害)と診断されました。



取っ組み合いのケンカ(小学生時代)

穏やかさを取り戻した現在(中学1年生)

薬を飲み治療を続けてきましたが、中学生になっても、薬の副作用や薬が切れる時間帯の衝動的な行動や攻撃的な言動に悩まされる毎日でした。医師にも相談し薬の量も増えましたが、副作用も気になり始めました。食欲が落ちどんどん痩せていく息子、気分が落ち込み自殺でもするのではないかと心配する毎日、そんなとき、知人から遠赤外線加工寝具を紹介され、発達障害の子どもの脳に良い効果が出ていることを聞き、早速ベッドパットとタオルケットを使用することにしました。一週間経過したあたりから、睡眠障害もあった息子に起きたら薬を飲ませることを忘れる程、穏やかさを取り戻していました。集中力も出てきたのか、学習障害もある息子が「明日は漢字テストがあるんだ！」と机に向かっての姿と対話ができるときには、家族で涙が溢れてきました。

各界専門家の声

「遠赤外線加工寝具」

発達障がい児教育として2400枚の実績



一般社団法人エジソン・
アインシュタインスクール
協会代表

すずき しょうへい
鈴木 昭平先生

〈プロフィール〉

現在同協会会長。1976年3月横浜国立大学大学院経営学研究科修士課程修了。経営学修士。同年4月より同大学大学院研究生。ジャスコを経て常磐大学職員、常磐学園短期大学学内講師、桜美林短期大学、産能短大、日本航空高校、国土交通省・住宅産業研修財団などの講師を務める。1988年より幼児教育に携わり、1992年より発達障がい児の改善指導に取り組む。

■ 深い睡眠は子どもの脳を育てる!

私は、「エジソン・アインシュタインスクール協会」の設立をはじめとした知的障害児教育に取り組んできました。知的障害を克服するために有効な方法として、私は3つのメソッドを提唱しています。それは、「両親の意識改革」と「超高速学習」、そして「血流・血液状態の改善」です。脳の働きを高めるには、酸素が不可欠です。人間がいちばん酸素を多く取る時間は深夜です。ですから、睡眠時に酸素の供給をいかに増やすかが脳の働きを高めるうえでキーポイントとなります。睡眠の質が悪い、つまり呼吸が浅いと酸素供給ができず脳が休みません。結果的に前日のストレスを翌日に持ち越すことになるのです。ぐっすり眠るには、血流をよくすることが大切です。そのためには、足を冷やさないと必要不可欠となります。足が冷えていると、結果的に腸を冷やしてしまうことになるからです。小腸は、「第一の脳」と言われるほどで、不登校の子は、腸に不調を抱えているケースが少なくありません。腸を冷やさず、きれいにすることによって、栄養吸収力が高まり、血流をよくすることができます。体をあたためて寝るようにすると、子どもはぐっすり眠れます。私は、北は北海道から南は沖縄まで、障害児を育てる2400組*の両親とお子さんに、血液・血流状態を改善するなどのトレーニングを施してきました。通常は、血液が入れ替わる3~4カ月で成果が表れ、3歳前の子であれば、1年以内で目に見えるほど症状が改善します。知的障害児をはじめ、子どもたちは、優れた能力を秘めています。子どもたちの可能性を引き出すためにも、遠赤外線加工寝具をすすめていきたいと思えます。

脳力を高める「遠赤外線加工寝具」活用法

年々、発達障がいといわれる子どもたちが増えており、世界的に大きな問題となっています。原因は、大きく言うと地球環境の悪化だと思われます。水や空気や土壌が汚染されて、食べ物が汚染されています。電磁波や放射線も強く、社会的な不安定さも増えています。家庭環境においては親子関係のストレスも増大しており、子どもたちが大きく被害を受けていると思います。医者も教育者も心理学者も知的障がい・発達障がいは治らないと言いますが、成長期の子どもにも不可能はありません。脳が成長発達する時期の改善が最も有効なのです。それを諦めてしまうことによって、家族共に不安な人生を過ごすことになり、それぞれの人生がおかしくなり、日本の未来もなくなってしまいます。そこで何とかしなければならぬと立ち上げたのが、遠赤外線加工寝具を組み込んだプログラムです。新しい方向性として脳科学に基づいた教育を提唱したいのです。

血液の質を上げることが免疫力を高める自然の薬となります。子どもの脳は大人以上に血液の影響を受けやすく、血液の質と血流の悪さが脳の成長発達を阻害します。食事の質を上げ、血流を良くし、脳に良い血液を送らなければなりません。更に血流を悪くする原因としてストレスがあります。ストレスがかからないよう、子どもに合った指導・教育が必要です。さらに、深い眠りでストレスが強くなり、親子関係も改善されます。人が持っている能力を上げるためには食事と睡眠が重要になります。遠赤外線加工寝具を使用して寝ることによって、睡眠の質が良くなり、子どもの体温が上がり、毛細血管の血流も良くなります。血流が良くなるということは、脳に血液が送られ、脳のトラブルが改善することになります。

2018年11月13日
in ホテルリゾーピア箱根
講演語録

- * 脳の成長発達に血流が大きく影響するため、血流を良くすることが重要である
- * 血液の質を上げると免疫力が高まり、自然の薬になる
- * 遠赤外線加工寝具で睡眠の質が良くなり、ストレスに強くなる
- * 遠赤外線加工寝具で体温が上がり、毛細血管の血流が良くなる





スピリチュアルカウンセラー・
形而上学セミナー講師

おおたに
大谷 マキさん

〈プロフィール〉

同会社MUSA代表
MUSAスピリチュアルヒーリングサロン代表
株式会社アイシステム代表取締役
瞑想、パワーストーン、気功、太極拳、占術、の学びと実践を続けたのち、高度なヒーリングの手法と形而上学の学びに出会い、人生が大きく変容。スピリチュアルカウンセラー、サイキックヒーラー、形而上学セミナー講師として活動を開始し、延べ1万人近くの方へ形而上学の教えとヒーリングセッションを提供。

ヒーリングのパワーにプラス、 「遠赤外線加工寝具」のダブル効果で 血流も良くなっていただいています。

「遠赤外線加工寝具」を知ったきっかけ

遠赤外線加工寝具を最初に知ったのは、あるご縁でPMC東京オフィスの片平さんに出会ったことでした。健康に関して様々な活動をしている方に出会いますが、遠赤外線加工寝具を使ってみようと思ったきっかけは、代々木の赤ひげ堂の竹内院長なんです。

実は私は赤ひげ堂の大ファンで20年近く通っていて、本当に素晴らしい治療院だと思っています。今もメンテナンスで通っているのですが、竹内院長に絶大な信頼をおいているのです。その院長が「これ、いいんだよね!」と絶賛していたので、ちょっと使ってみようと思いました。

すぐに副交感神経のスイッチが入りました!

最初、メディカルケットを使ってみました。ちょうど2年前の12月でした。正直、半信半疑で使い始めました。健康オタクの割には、若い時の夜型生活や、仕事が深夜までかかることも頻繁であったことから自律神経が狂っていて、夜型の体質を直せずにいました。メディカルケットを使ったその日から3日間、異常に眠気がやってきました。それまでは夜中0時になると、仕事がちょうど乗ってくるような体質だったので驚きました。3日間早々に眠気がやってくる、副交感神経のスイッチが入ったわけです。おかげで何だかしっかり眠れているし、何かポカポカするし、最初の3日で「何これ!」と思ったのです。

家族に勧めなくちゃ!

3日で遠赤外線加工寝具のパワーを感じたものの、いやいやまだ3日だしと思いつつながら1ヶ月使ったら、冬だったのでわかりやすかったのですが、基礎体温がすごく上がったのです。睡眠の質もすごく良くなって、夜は毎晩早々に眠くなるようになりました。

さらに私は低血圧で朝起きるのが闘いだっただけですが、気持ち良くてスッキリと起きられるようになりました。1ヶ月使って、体も睡眠も変わったので、「これはやばい! すごいものに出会ってしまった!」と実感し、両親、弟夫婦にもメディカルケットをプレゼントしました。両親には本

当に健康でいて欲しいと思って、サンドイッチで寝るために下に敷くパットもその後買いました。「これで寝て! これ以外使わないで!」と言って使ってもらっています。両親もメディカルケットを使った時点で「何これ?! あったかい!」ってすぐに実感してくれました。

その後の母の感想で驚いたことがあります。いつも湯たんぽを使っていたんです。去年、ちょうど1年前に帰った時に「あれ! 湯たんぽは?」って言ったら、「もう遠赤外線加工寝具はあったか過ぎて、湯たんぽなんかいらないわよ!」って言っていて。本当によかったです。

哺乳類全てに有用!

今まであらゆる健康法を試してきました。本当に良いものも出会ってきました。ただ、私には良くても、おすすめした方の体質に合うかどうかかわからないので、サロンのお客様や友人にご紹介する時には、こういうのも良かったですよ、とか、こんな治療法もあるよっていう薦め方をしていたんです。ですが、遠赤外線加工寝具は哺乳類全てに良く、どんな体質であろうか絶対に効くので、本当に皆さんに知ってほしい、使っていただきたい!と思っています。

そのために、片平さんにこの2年間で5回ほど産熱セミナーをお願いしました。健康に良い本物を知りたい方にぜひ!ということ

で、結構多くの方をご紹介させていただきました。

ぜひ使ってみたくて多くの方が実際に使ってくださっていますが、ほぼ100%の方が「見た目は普通の寝具なのに何これ?! 睡眠が全然違う体質も良くなっている!」と、驚きの声をいただいています。あと、不眠症でこれまでの人生でまともに眠れたことがないというお客様がいて、おすすめして、その方も本当にびっくりしていました。「これが睡眠なのかと人生で初めてわかった」と仰っていました。そして良さを実感された方々が、今度は私の親に!と、ご家族の方に追加で買われている方が多いです。

ヒーリングとの相性もバッチリ!

本当に良いものなので、サロンにも導入しました。手当療法のレイキヒーリングという日本生まれのヒーリングがあり、その指導をしているのですが、ひざ掛けを2枚そのレイキヒーリングで使っています。

ヒーリングのパワーにプラスして、この遠赤外線加工寝具のひざ掛けで更に血流も良くなっていただいて、ダブル効果で体験していただいています。あと、冬などお客様が寒いとおっしゃる時に、ちょっとすごい魔法のひざ掛けがあるから、と

使っていただいています。

少しでもお客様にあたたかく過ごしていただき、お元気になるっていただきたいと願い使わせていただいています。





「漢法・赤ひげ堂」 患者様からの体験談

遠赤外線寝具を使用した
治療院「漢法・赤ひげ堂」の患者様から
喜びの声をたくさんいただきました。

血液が一瞬で流れるのをみて、 ピンとききました。

私は、1978年に治療院「漢法・赤ひげ堂」(東洋総合治療の専門)を開院、西洋医学では見放された数多くの患者さんの治療にあたってきました。ここでの治療は、東洋医学的な診断と気功診断に基づいており、著名人やプロスポーツ選手も通院しています。

同時に、世界中からの多くの弟子たちを受け入れ、彼らは世界の10ヶ国以上の国で活躍しています。指導を受けた外国人の弟子は500人に及びます。

●低体温は万病のもと

東洋医学、西洋医学を問わず言えることは、「低体温は万病のもと」だということ。ということは、体温が一定の温度を維持していると、病気は改善しやすいのです。免疫力と体温の関係は科学的に証明されています。特に、寝ているときの体温の低下をいかに防ぐかが健康長寿につながります。人間なら誰でも夜間、

治療院「漢法・赤ひげ堂」院長
竹内 信幸先生



寝ている間に基礎体温が生理的に下がるものです。そのため、脳梗塞を発症する人の8~9割が最も体温が下がる朝方に集中しています。それらを防ぐには、腎臓が冷えないよう(夜中にトイレに起きるのは腎臓が冷えるからです)、①血流を上げることと、②体温を平常近くまで上がる体質にすることがポイントとなります。私の治療も、この二つを理念としています。

遠赤外線加工寝具を使用すると、多くの人は基礎体温が1℃くらい上がり、免疫力が高まるだけでなく、多くの症状が改善することもあります。

私自身も、睡眠をとるときは、遠赤外線加工寝具を愛用していますが、体の調子がよくなるだけでなく、直感が働きやすくなったという効果も感じています。座禅をしているような感覚なのです。

子宮筋腫が小さくなった

鳥取県在住 M.N.さん 40代女性

鳥取在住のメイクアップアーティストですが、東京でのメイク講演会の際には赤ひげ堂さんに通っています。

とにかく体の調子が悪く、何をやってもやる気が出ず、朝は起きられずに、仕事が辛く感じ、出来れば毎日横になっていたといった状態でした。ある日赤ひげ堂さんで遠赤外線加工寝具を使うように勧められ、早速使い始めました。その後みるみる体調が回復、やる気も出てきて、海外でのイベントも大成功に終わりました。更に嬉しいのは、この寝具を使い始めて3ヶ月が過ぎた頃の子宮筋腫の検査で、3つあった子宮筋腫が、一番大きかった1つを残し消えていたということです。さらに残っていた筋腫も半分くらいに小さくなっていたのです。本当に嬉しくて、普段は車での移動の際にも使用し、とても重宝しています。



薬を飲まずに 緑内障の驚異的な改善

東京都在住 60歳男性・会社役員

これまで緑内障で定期的に検診を受けてきましたが、遠赤外線加工寝具を使用して2ヶ月後の検診で初めて緑内障の数値が低下していました。この間は特に食事療法などもせず、今までと変わらない生活でしたので、心当たりはこの遠赤外線加工寝具しかありません。更に4ヶ月後の検査では、視神経の改善が見られたのです。ほぼ正常な状態に回復しているということです。処方された薬も飲んでいなかったことも明かし、1度死滅した視神経は医学的に回復しないということで、病院の先生も驚いていました。

黄斑変性症という 治療方法が無い、 目の難病が改善

鹿児島県在住 80歳男性

私は黄斑変性症というアルカロイド蛋白(アルツハイマーと同じ病原体)が原因で起こる目の病気を患っています。黄斑変性症は難病で、少しでも改善するように2ヶ月に一度、鹿児島から飛行機で赤ひげ堂さんへ治療に伺っています。2年前にマットや枕カバーを使い始めましたが、約1ヶ月半で快眠になり、3ヶ月目頃、眼科で眼底検査を行ったところ黄斑部に改善が見られたとの診断を受けました。更に3ヶ月後には、眼科の先生も驚いて「経過がととも良いです。何かされていますか…?」と尋ねられたほどです。目や脳の血液循環が良くなり、アルカロイド蛋白が代謝出したからということ。難病の改善が出来たことに大変喜んでます。

2度の脳梗塞で右半身不随の 寝たきりだった母が外出

S.T.さん

88歳になる母は、2度の脳梗塞で右半身不随になり寝たきりでした。右足のむくみがひどく、糖尿病も患っており、薬を服用していましたが、血糖値が150もありました。それが、遠赤外線加工寝具を使用してから3週間ほどで120まで減少し、ひどかった右足のむくみが改善されつつあります。また、寝たきりで気持ちが沈んで家にこもりがちだったのですが、前向きになって外出できるまで快復して喜んでます。

足の冷えが改善。 体温35℃台、最高血圧は 100以下の私でした

78歳 女性

体温は常に35℃台、最高血圧は100以下だった私でしたが、遠赤外線加工寝具を使い始めて2週間で体温が36℃台になり、最高血圧も130台に上がって来ました。その後は体調も良く、目を手術して以来悩まされていためまいも改善し、この寝具で寝ていると体全体が温かく、足の冷えも改善されてきました。



入院している父親の 尿管癌が消失

A.M.さん

58歳の父は膀胱癌のため摘出手術をしましたが、尿管への転移が発見されました。そこで入院している父親に遠赤外線加工寝具をプレゼント。尿管と腎臓の摘出手術を控えていましたが、入院中この寝具を使用して1ヶ月半後の検査では、癌が消失して手術の必要がなくなり、外出許可も出ました。こんなことで親孝行が出来て良かったです。

6000回の不整脈が なんと6回に激減

60歳 男性

自分的には健康で、体格も良く、働き過ぎで疲れるくらいです。ただ血圧が高く、以前から不整脈が続いています。先日心臓の検査で、1日6000回の不整脈と言われました(拍動6~8回に1回のペースで不整脈)。それが何と、この遠赤外線加工のマットに寝るようになってから3ヶ月後の検査では、1日6回のペースまで激減していました。



時差ボケになる 憂鬱感から解放

R.S.さん

仕事の関係でアメリカの大学に行くことになりました。今まで飛行機で往復した後は必ずひどい時差ボケが何日か続くので、今回も行くことに気が進みませんでした。しかしこのタオルケットをかけていれば時差ボケにならずに済むということで、使ってみることにしました。すると何とビックリ!時差ボケが一切なかったのです。それから時差ボケになるという憂鬱感から解放され、その後も安心して海外に行っています。

常に枕カバーとタオルケットを 持ち歩いています

44歳 女性

ピアニストの仕事から移動も多いために体の負担が大きく、今までは月に1回は頭痛、めまい、吐き気で救急病院に行っていました。それが遠赤外線加工寝具を使うようになってから、それまで悩んでいたことが一切無くなり、体の負担が大きいときでも体がつようになりました。そんな訳で移動先には常に枕カバーとタオルケットを持ち歩き、そのため枕が変わっても良く眠れ、疲れも溜まりにくくなりました。

「遠赤外線加工寝具」は一度買ったら 毎日寝るだけなので、実践&継続しやすい健康法です

実践健康研究家 ^{わたなべ しげる} 渡辺 茂さん

体温上昇プログラムを実施しながら感じるの、実践して、それを継続させて日常の生活習慣に落とし込むところまでできないのです。遠赤外線加工寝具は一度買ったら毎日寝るだけなので、実践&継続しやすく、ハードルは相当低いと思います。努力なしで体温が上がり、血流が良くなるので、結果がとてもしやすいです。食べることもとても有効ですが、決めたように毎日実践することが難しいこともありますので、そういう意味では遠赤外線加工寝具は画期的だと思います。私も家族でもう15年以上使わせてもらっています。

日本もあと数年で予防の時代が変わっていくと思います。病気になった人を治療しているのでは間に合わなくなります。おそらくこの遠赤外線加工寝具もかなり普及していくのではないのでしょうか。



お孫さんもアルファーススリームがお気に入り

〈プロフィール〉

薬を売らない薬剤師。
実践健康研究家。
あまてらす株式会社 代表取締役。
厚生労働省関連財団、医療経済
研究機構にて、各国医療行政等
に関する調査研究を行う。

遠赤外線加工寝具は生きる力を高めて ストレスを跳ね返す力になる

免疫学者 ^{あぼ とおる} 故・安保徹先生

2014年8月30日、安保先生の講演会を東京・星稜会館にて主催しました。DVD記録からの引用です。

遠赤外線加工寝具についてどう思われますか？

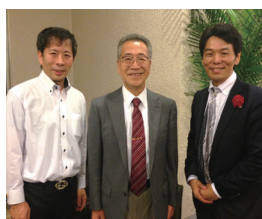
同じ生き方、同じ年齢、高齢になっても積極的に血流を増やしていくのは生きる力を高めてストレスを跳ね返す力になりますね。積極的に使っていただいで欲しいですね。医療がだらしない(病気を治せず)からという面もありますけどね。

この講演の最も伝えたいこと。

自律神経の働き、白血球の働き、エネルギー生成の3つの

柱がある。身体全体を調節する仕組みが健康を守る上でのキーワードになっていると思う。

今の医学や医療は臓器別や再生医療で何か悪いところを



取り換えるという凄く細かいところに目がいく医学になっている。病気として発達するには過酷な生き方、悩み、ストレスなどが身体全体を束ねるシステムに影響を与えている。そこを理解して欲しいですね。



ぐっすり眠ると、翌日のプレーが違う

元横浜DeNAベイスターズ ^{たむら ひとし} 多村 仁志選手

体が資本の私は、体を休める眠りが以前から大事だと思っていましたが、どんなものが「質のいい眠り」で、どうすれば「質のいい眠り」がとれるのか、よくわかっていませんでした。縁あって、「遠赤外線加工寝具」のことを知りましたが、半信半疑で実行してみると、実に体調がいい。疲れがすっきりととれるのです。私は、もともと寝つきが悪いほうでした。試合の興奮状態を引きずってしまうため、夜になってもなかなか寝つけず、どうしたものかと悩んでいました。眠れないと、疲れもとれませんし、イライラしますから。それが、本書の「遠赤外線加工寝具」を実行しているうちに、驚くほどコトッと眠れるように。非常に寝つきがよくなりました。しかも、眠りも深

いようで、朝までぐっすりです。必要な眠りがとれているためか、朝もパツと起きれるようになったのです。「眠れる」ということは、単純なことのように思うかもしれませんが、私のようなスポーツ選手にとっては、とても重要なことなのです。試合のストレスがその日のうちにリセットできるから、体の疲れもさることながら、精神的にもリフレッシュできます。この方法を実行していると血流がよくなって、古傷にも効くような気がしています。体も柔らかくなったようで、ここの「瞬発力」も発揮できるようになりました。選手として、1日も長くプレーしたい。そのために、これからも「遠赤外線加工寝具」を使い続けていこうと思います。



「遠赤外線加工寝具」で高いリラクゼーション効果が見られた



早稲田大学人間情報科学科 教授 ^{みやざき} ^{まさみ} 宮崎 正巳 先生

大学では環境応答論という授業で睡眠の重要性を説いています。人間は、およそ1日の3分の1を「睡眠」に使います。「睡眠」は、人間の根幹をなす生命の営みと言ってもいいでしょう。この睡眠をいかに快適に過ごせるかで、日常の生活の質を高めることができると考えています。睡眠中は、平均して90分サイクルで、レム睡眠とノンレム睡眠が繰り返されます。人間は、日々繰り返される睡眠で、新しい知識や、新たに獲得した技術を身につけるという報告もあるほどです。さて、少数例ではありますが、睡眠中に心電

図から、この自律神経を分析した結果、遠赤外線加工寝具の実践によって副交感神経が優位になるケースがありました。副交感神経が優位になるということは、「体がリラックスできている」ということを表します。これは、自分自身の体を快適に維持していくことでもあります。また、遠赤外線加工寝具の実践者には、末梢の微小血流量においても、増加傾向が見られました。これは、血液の流れがよいという証拠です。遠赤外線加工寝具は、より健康的に暮らしていくための大きな助けになるでしょう。

心身の健康に優れた点が多くあり、 知恵や人生の財運をも与える



世界和平聯盟創会主席 ^{うー} ^{ようめい} 吳 錫銘 先生(台湾)

「遠赤外線加工寝具」は私たちがこれまで巡り会えた中で最も不思議な健康法である。

永年、私は肉体的、精神的健康法について世界各国で指導してきた。肉体的、心理的、精神的バランスの調整法で以って、聖者の心境に到達せしめることができる。この方法を使って、一生薬を使わず医者にかからずで充分健康で楽しく生きることができる。そして生命を終える時、充分満足して安心して尚且つ痛みで苦しむことなく人間の世界から離れる(死ぬ)ことができる。一般的に人は口に泡を飛ばしながら道を説く口先だけの宗教家に疑問を持っている。私は学者であり、大学の博士教授であり科学者の一人として宣伝手段に責任を持たなければならない。私はこのかた30年来科学的証拠を積み上げてきた。たくさんの研究者が健康用具の効果を述べている。私自身も身を以て科学的な成果を体験した。例えば薬品を使わず医者にもかかって居ない。私の顔色は良く、顔のシワも伸び、体全体が柔らかく、声も澄んでいて、動作が敏速になった、私は63歳ではあるが40歳の人と同じくらいに見える。私の作り話でなく、本当のことである。アメリカの大学の著名な教授の大村恵昭博士がOリングテスト、インドのソロヤンオン大学莫絲博士のPIP能量撮影機による検証、中国武漢体育学院夏全教授の身体、脳のコンピューター分析、インド阿育吠陀瑜珈大師Raiesh Kumar Mishra博士の量表測試算等枚挙にいとまがない。

そして日本の「遠赤外線加工寝具」に巡り合ってから以後、私は人類の健康面の貢献に役立つと思った。3年前、日本世界和平

会副理事の安部優秀博士(この人は20年来の日本の学生である)が「遠赤外線加工寝具」を紹介してくれた。彼女が人体の健康に十分有益であると言ひ、台湾の発展に役立てれば良いと言った。安部博士は72歳ではあるが体は健康で外見は50歳ぐらいに見える。元気に歩いて、日本各地や台湾や各国を飛びまわっている。

「遠赤外線加工寝具」は人類の健康面の貢献に役立つと確信するものである。血流観察装置を使って、「遠赤外線加工寝具」を体感する前と後の血流の状態の変化をはっきりと測ることができる。これは科学的に十分な実証方法であり、私が「遠赤外線加工寝具」を人類の社会的健康に貢献するものであることを推薦する理由である。

結論として心身の健康に優れた点が多くあり、智慧や人生の財運をも与える。

- ①「遠赤外線加工寝具」は24時間いつでも実践できる。それは気功を24時間いつでもできるのと同じである。
- ②メタボ効果。ここ3年で私の体重は82kgから67kgになった。しかし体は依然として健康で精神も充実、容姿も衰えず私の心身霊方法以外では長い間、実践したおかげである。
- ③財運を呼び込む智慧は肉体的に健康であれば人生は順調に行く。肉体が健康で心が平らかで静かであれば智慧は容易に湧いてくる。人の体気が旺盛になり事業をやってみると手応えを容易に得ることができ、財運が簡単に順調に手にはいる。人生すべて思いのまま円満に行く。

以上、台湾語の原稿を日本語訳した内容です(2014年)



国内外の公的機関から吳先生へ贈られた数々の賞状



2013年、台中で行われた吳先生主催の2万人規模の平和イベント。日本国は東日本大震災時に多額の寄付を吳先生からいただきました。

〈プロフィール〉

世界和平連盟WPL総帥。中華民国大日如来佛学總會理事長。国連國際交流医科大学医学博士。アメリカ東洋医学博士。台湾大学政治研究所首席法学博士。國際各大学院院长・教授、など。2001年、吳錫銘博士教授は国連NGO世界和平教育者國際協會IAEWP世界總會の常務理事及び台湾会長を担当した後、世界和平連盟WPL総帥を創設。

医療従事者の声



歯科医師
日本歯科麻酔学会認定医
日本直立歯科医学研究会理事

くまがい みちえ
熊谷 倫恵さん

〈プロフィール〉

1989年、北海道大の歯学部卒業後、
歯科麻酔科に入局。東洋医学について
も学ぶ。子供の出産をきっかけに大学
病院を辞め、熊谷歯科医院に勤務。現在
は理事長。



麻酔が効かず、痛みを訴える 患者さんにスタッフが何も言わず ブランケットをかけています。

「遠赤外線加工寝具」体験談

遠赤外線寝具との出会いは、コロナ禍初期に統合医療の勉強会へ吉田先生に誘われて入ったのがきっかけで、片平さんと知り合せて、遠赤外線寝具を使わせてもらいました。まずは使ってみないとわからないということで、ブランケットと腹巻を使ったのです。それがものすごく良くて、足が冷たいと思うこともなくなりました。特に腹巻が良くて、お腹をしっかり支えているという感じが素晴らしく、これを肌身離さず常につけています。特にどこが悪いということが私自身ないので、体感的には冷え性くらいしかわかりません。しかし、遠赤外線寝具を使った感じが気持ちいいので、自分の両親、子供、妹、姪っ子にも配って使ってもらっています。私の父もブランケットに包まれて朝起きるまで、気持ちよく寝ているそうです。体に良くないと、そういう状態にはならないでしょう。私の父は87歳でまだ一緒に仕事をしているのですが、それも遠赤外線寝具のおかげだと思っています。

すごくいいものは周りに教えたいと思い、使い始めて半年くらいが経ったとき、片平さんに札幌へ来ていただいて商品の説明会をしてもらいました。そのときに15人くらい集まったのですが、片平さんのお知り合いの札幌の整体の先生(75歳)がいて、10年間遠赤外線寝具を使っているという話を聞いたのです。その方は高齢だし、もう駄目だろうと言いながら測った毛細血管が集まった15名の中で一番良く、10年間遠赤外線寝具を使うとこんなにも凄いかという衝撃を受けました。これは長く使い続ければ、使い続けるほど良い循環が生まれると思った次第です。私は血流計を持っていないのですが、そのうち手に入れて様々な症状を見ていけると良いなと思っています。

「遠赤外線加工寝具」の効果(娘の睡眠障害の改善)

私の娘はストレスがかかると、よく不眠になるのです。娘が体調を崩したときに、遠赤外線寝具のマットとパット、シーツ、ブランケット、枕といったフル装備を使用したところ、不調から脱するのが早くなりました。今は、そのフルセットを娘が使っています。

明らかに疲れの取れ方や体が楽になるレベルが違うので、最初の頃は「本当にすごい」と毎朝、起きてくるたびに言っていました。今は使い続けているので、特に何もコメントはないのですが「来年、家を離れるときには、これを絶対に持って行く!」と言っています。

現在当院でどのように使用しているか

使用例① 痛みがあった歯や噛み締めがひどい方は麻酔しても効きません。ブランケットを体にかけてと速攻で麻酔が効くのです。時間の経過か、ブランケットをかけたから効いたのかは、まだわかりませんが、有意差があるのではないかと感じています。

使用例② 緊張の強い人も麻酔の効きが悪いので毛細血管がすごく締まっているのではないかと感じています。しかし、遠赤外線寝具のブランケットをかけることで、細い血管の血流が回復して麻酔の効きが変わるのかなと感じています。

使用例③ すごく緊張して手が冷たい方にブランケットをかけて「これはすごく温まる!」と言われて、手が温かくなりました。治療の前に緊張しているなと思う方にはブランケットをかけて緊張を緩めることをしています。

使用例④ 多動の子供にブランケットをかけると、少しおとなしくなるような気がするのです。これはまだ調べていないところも多いので、イメージで思っているだけですが、多動の子供にブランケットかけるとおとなしくなって言うことを聞くような感じになります。

今後試してみたい使用法

使い方① 血液の中の酸素飽和度を測る機械が病院にあるので、ブランケットをかける前後で呼吸状態の変化を見てみようと考えています。

使い方② 落ち着きのない子供に観察の項目を立てて、ブランケットをかける前後でどのような有意差があるのか見ていこうと考えています。



歯科医師
さとこデンタルクリニック院長

いわまえ さとこ
岩前 里子さん

〈プロフィール〉

1990年、明海大学歯学部卒。明海大学口腔外科第二講座医局員。東京都立心身障害者口腔保健センター研修(障害者歯科)。埼玉医科大学病院麻酔科研修。島田記念病院歯科口腔外科出身。1998年、さとこデンタルクリニック開業。



悩みを感じたことはありませんでした。ですからアルファマットを使用による眠りの改善実感は得られませんでした。マットに横になるとすぐに末梢の血流が変わってジンジンする感じがしました。マットだけでは睡眠に対しての効果を感じなかったのですが、枕を追加使用したその日から夜中に目が覚める中途覚醒が無くなりました。不眠に気が付いていなかったことに、初めて気がつきました。またシーツ

■ 猫が寄ってくる?

おすすめの方が毛布を購入されました。「今まで家内としか寝ない猫がこの毛布を買ったら毎日僕のベッドの上に来て寝ているんだよ。しかも僕がいない昼間、家内のベッ

■ どの商品をどう組み合わせたら良い眠りが得られるのか?効果を実感するのか?

片平さんおすすめの3点セット(ベッドパット・メディカルケット・枕)を二人の娘たちに購入時、長女が引っ越し前のタイミングだったので、とりあえず先に1セット購入、タオルシーツとピロケース、腹巻3人分も一緒に購入しました。これらを組み合わせて、どれを1番使ったらコスパが良いのか毎日ぐるぐる回して実験しました。

実験結果よりベッドパットよりもアルファマットの方が遥かに効果も高く、娘たちの夢の中でも奪い合いをするよう

■ 次女の話(余談)

次女がベッドマットよりアルファマットの方が脚のむくみ、冷え、全身の疲労感の改善効果が素晴らしいと、自身のアルバイト代で購入しました。「私は旅行に行って一時の楽しみを味わうより、自分の将来の健康に投資する」と旅行を中

止。アルファマットを購入してひとり暮らしを始めました。

また効果を痛感している娘たちは、主人の還暦のお祝いにケットをプレゼント。更なる「長寿」をプレゼントしたようです。

良好な睡眠、良好な抹消循環は 全身の健康に非常に関係があり、 それは歯を守ることにつながる。

■ 歯と全身のつながり

埼玉県で歯科医院「さとこデンタルクリニック」を開業している岩前と申します。直立歯科医学の理念のもと、単に口の中だけを見るのではなく、身体に対しての頭の位置・立位での歯の位置を診断し、立つバランスが整うように歯科治療を行っています。

あまり一般的ではありませんが歯を守るためには、立つバランスを整えるということがとても大切です。例えば立つバランスが崩れ、姿勢が崩れてくると特定の歯に力が掛かりすぎ、どんなにプラークコントロールを行っても歯が崩壊したり、歯周病が進行してきます。立つバランスを整え体調を崩れにくくすることは、歯を守ることにとても大事なことです。体を整えるためには、睡眠を整え、血流を整えることが欠かせませんが、これは歯を守ることに直結しています。ですから血流が落ちすぎている方の治療サポートアイテムとしてアルファスリームは、とても優れています。

患者さんから「おすすめの寝具はないの?」「良い枕はないの?」「眠れなくて悩んでいます」という会話が日常的に起きるので、アルファスリームをお薦めしています。

■ 遠赤外線加工寝具の効果

私は基本的にパーフェクト睡眠の人だと思っていて、眠れない

やピロケースがある方が癒し感が上がるようです。

医院開業のストレスで、今から25年前劇症型全頭円形脱毛症という非常にシビアな円形脱毛症になり、ほとんど髪の毛がない状態でずっとカツラをかぶって暮らしていました。短い髪の毛が生えてくるのですけれど、またすぐ抜けてしまうという状態が1年半も続き、この病態特有の症状ですが、爪にたくさんの穴が穿き凸凹していました。それ以降、爪の凸凹感、シワが入っているというのは脱毛が治っても改善しなかったのですが、腹巻きと寝具一式を使用して4年目、ふと気がついたら爪がツルツルになっていました。

ドではなく毛布の上で寝ているんだよ」とおっしゃっていました。猫ちゃんには効果がよくわかるようですね。

遠赤外線加工寝具臨床研究報告

～躁うつ病患者症例～



医療法人トータルヘルス理事長
タカオカクリクリニック院長

おちあい ひろこ
落合 広子先生

〈プロフィール〉

医療法人トータルヘルス理事長
三重大学医学部卒業後、耳鼻咽喉科医として勤務時、インドの伝統医学であるアーユルヴェーダと出会い、病院を辞め、インドに短期研修。その後、単に病にならないだけでなく、楽しくてイキイキと本来の能力を発揮する生き方とは?を追求。

双極性障害(躁うつ病)と診断されていた方に対し、24時間自律神経測定をしたところ、遠赤外線加工寝具使用前に比べ使用後は覚醒時と睡眠時の自律神経のメリハリのある良い状態になりました。うつ病の方は起きている時と眠っている時の区別がつかないくらい自律神経のメリハリが少ない波形となることが多いのですが、この方は遠赤外線加工寝具を使用してから波形のメリハリが付き、自律神経の状態が良くなりました。自覚的にもよく眠れた感覚があり、目覚めもよくなり、日中の眠気も減ったとのことでした。24時間の体温のモニタリングでは、遠赤外線加工寝具使用後は睡眠中の体表面温度が上がりました。すなわち、放熱することにより睡眠中の深部体温は下がり、脳と体のより深い休息が得られたと考えられます。また睡眠中の体位において、使用後にはあおむけの時間がやや増え、深い眠りの時間が増えた可能性が考えられました。クリニックではMRIでの特殊な断層撮影法を行い、うつ病、統合失調症や認知症の症状との関連を調べていますが、今回遠赤外線加工寝具使用前後で扁桃体の変化は明らかではありませんでした。指先の毛細血管像は、使用前後で改善が見られました。血流が改善され代謝も良くなった結果、老廃物の蓄積が減ったためと考えられます。血液検査でもデータの改善がみられました。臓器により修復の時間に差があるため、短期間で改善されるものも長期間が必要なものもあります。遠赤外線加工寝具の使用も含め生活改善を継続することにより、人体は段階的に本来のよりよい状態に改善されていくものと考えています。

躁うつ状態に悩む53歳の男性の症例

■ <使用前>

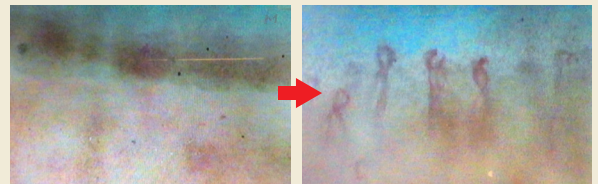
・貧血や睡眠不良の方に特有の中心が白く抜けて見える赤血球が数多く見られた。

■ <使用6ヵ月後>・変形していた赤血球は健康的な形へと戻った。

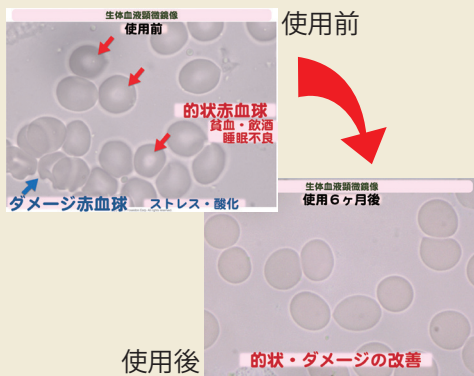
・「ぐっすり眠れるようになった」「目覚めがよくなった」
・「指先の冷えが軽減した」・貧血、血糖値、甲状腺機能の改善、躁うつ状態も軽減した。

〈毛細血管像〉

症例(使用前:2016年10月28日) 症例(使用7ヶ月後:2017年6月23日)

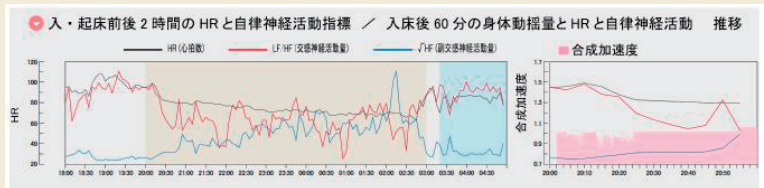


〈生体血液顕微鏡像〉

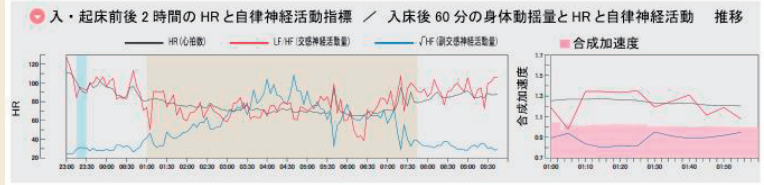


〈睡眠中の副交感神経活動の変化〉

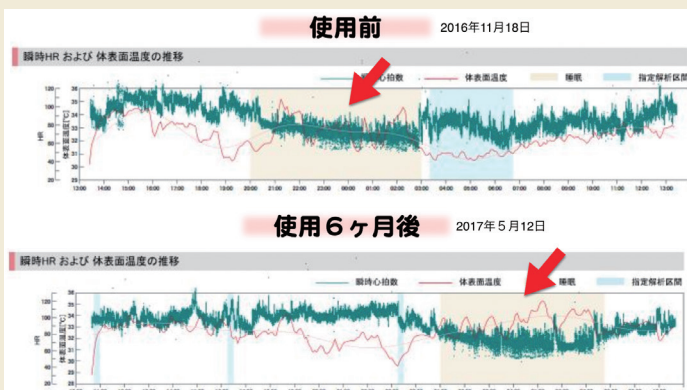
2016年11月



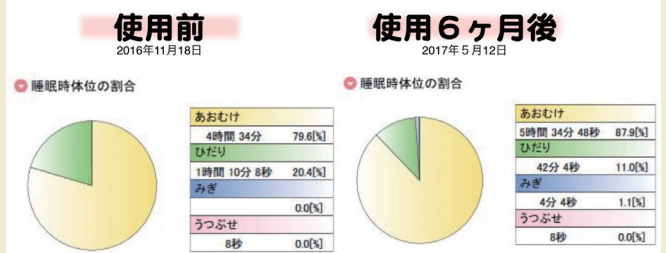
2017年5月



〈睡眠時の体表面温度〉



〈睡眠時の体位〉



遠赤外線寝具による抗ストレス試験の報告書



金沢大学大学院
医薬保健学総合研究科特任教授

おた とみひさ
太田 富久教授

〈プロフィール〉

薬学博士。1969年 東北大学医学部薬学科卒業。1974年 東北大学薬学研究科修了。専門分野…生物活性、代謝酵素、生薬学、天然物化学

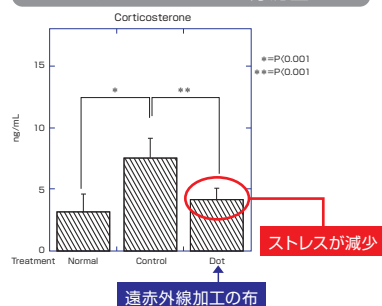
18匹のマウスを1週間予備飼育した後、3群の条件に分けて1週間の実施。マヨネーズ瓶に閉じ込める方法によって、通常飼育のマウス (Normal) と比較してストレス負荷マウス (Control) におけるコルチコステロン分泌量が2.4倍に増加した。これに対し、試験布マウス (Dot) ではControl群と比較してコルチコステロン分泌量が54% (1/1.82) に減少した。

右図に示すように、通常マウス (Normal) に比べてストレス負荷マウス (Control) において血糖値は高く推移し、Dot群では通常マウスと同程度に抑えられた。

以上の結果を総合すると、試験布のマットで飼育することにより、ストレス負荷がかかる状況に置かれた場合でもストレスが低く抑えられることが判明した。

遠赤外線加工寝具によってストレスが軽減

コルチコステロンの分泌量



ストレスの度合いを示すコルチコステロンの分泌量は、通常マットでストレスを受けたマウスは通常飼育の2.4倍に対し、遠赤外線寝具のマット使用マウスの分泌量は、マット不使用のマウスと比べて54%と約半分に減少したことから、遠赤外線寝具のマットでストレスが緩和されることが実証されました。



芝浦工業大学システム理工学部
生命科学科 分子細胞生物学研究室

ふくい こうじ
福井 浩二教授

〈プロフィール〉

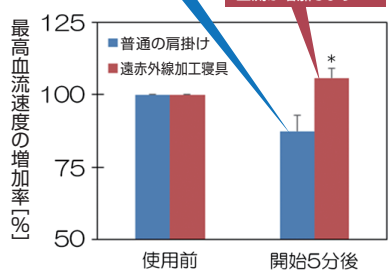
芝浦工業大学大学院工学研究科博士(後期)課程機能制御システム専攻修了。和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座博士研究員、北海道大学大学院理学研究院生命理学部門助教、芝浦工業大学システム工学部生命科学科助教を経て、芝浦工業大学システム理工学部生命科学科教授。

遠赤外線寝具(万能掛けパット)を使用した研究データ

5分で血流増加!

しかも
心臓に負担をかけない
寝苦しくない

じっと同じ姿勢でいれば血流が悪くなります
遠赤外線加工寝具はじっとしても血流が増加します



〈実験報告〉

- ・棄却検定(スミルノフ・グラブス検定)を実施。
- ・男女19名のデータ。使用前を100%とする。
- ・実験/同一の被験者に、普通の肩掛けか遠赤外線加工寝具かは知らせずに、肩からかけてパソコンを使う姿勢をとってもらいました。

遠赤外線加工寝具の仕様は、通常の肩掛けに比べ、約18%最高血流速度が有意に上昇しました。

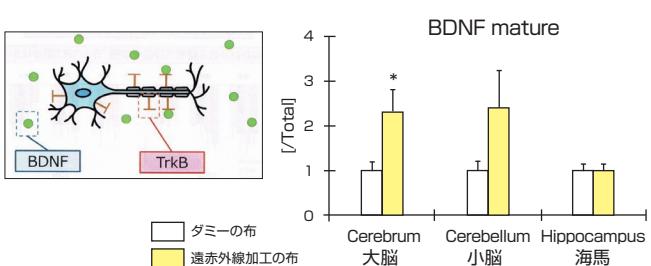
その他、5分間で脳波がアルファー波に!

※簡易ベッドに遠赤外線加工寝具か否かは告げずに一定時間横たわり、その際の血圧、脈拍、皮膚表面温度、脳波を測定。アルファー波の値が通常の毛布使用時と比較して優位に増加しました。皮膚表面温度、心拍数や拍動係数には変化がありませんでした。

〈実験報告〉 使用動物・C57BL/マウス(6月齢KARA10月齢まで飼育)・高脂肪食投与モデル(6月齢KARA10月齢まで飼育)

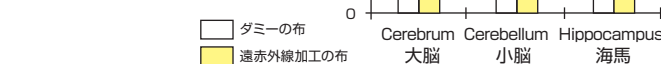
神経栄養因子について BDNF

BDNFは脳由来神経栄養因子と呼ばれるタンパク質の一種で、神経細胞の発生や成長、維持や再生を促してくれます。脳内で記憶を司る「海馬」に多く含まれていて、そこで神経細胞の動きを活性化させることが期待されています。



神経栄養因子について NGF

- ・NGFは細胞膜上に存在するTrkA (Tropomyosin receptor kinase A) と特異的に結合することで細胞内に伝達されます。
- ・神経軸索の伸長及び神経伝達物質の合成促進作用、神経細胞の維持作用、細胞損傷等の修復作用、脳神経の機能回復を促し老化を防止する作用等を持ち合わせた重要なタンパク質です。
- ・特に樹状突起の機能低下を防ぐ働きがアルツハイマー病の予防・治療に有効であると注目されています。



遠赤外線加工寝具は記憶に好影響を与えます ・BDNFが大脳で増加 ・NGFが海馬で増加

睡眠障害と遠赤外線加工寝具の効果



千代田国際クリニック院長

ながた かつたろう

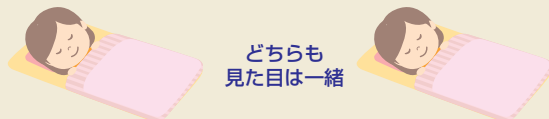
故・永田 勝太郎先生

〈プロフィール〉

(公財)国際全人医療研究所 代表理事
WHO(世界保健機関)心身医学・精神薬理学教授
リヒテンシュタイン国際学術大学 院大学ピクトール・フランクル講座 名誉教授

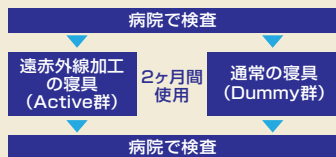
〈検査方法〉 二重盲検法

遠赤外線加工寝具を使用しているという先入観の自己暗示が働かないように、本人には遠赤外線加工寝具(Active群)、通常の寝具(Dummy群)のどちらかは告げず、2か月間試用してもらいました。



遠赤外線加工寝具(Active群)
※以下A群と表記

通常の寝具(Dummy群)
※以下D群と表記



目的

遠赤外線加工寝具が、睡眠障害者の睡眠に及ぼす影響、また人体に及ぼす生理的効果、安全性、QOL向上の効果を検討

検討事項

●医学的効果の検討 ●安全性の検討
●生体のホメオスタシスの検討

試験方法

封筒法により、Active群とDummy群に分類し両群の効果を比較検討する。(公財)国際全人医療研究所倫理委員会承認

研究期間と実施場所

2015年11月1日～2016年5月30日
場所:武蔵野病院(東京都)

対象

・不眠を訴えて来院した患者
・封筒法により、2群に分類
Active(A群)、Dummy(D群)

	A群	D群
治療開始時	15	16
drop out	6	5
治療終了時	9	11
性別 女性:男子	8:1	11:0
年齢	57.4±13.1	48.6±13.7

いずれの項目もA群、D群に有意差なし

睡眠健康調査票(AIS) (世界共通の不眠症判定法)

世界保健機関(WHO)が中心となって設立した「睡眠と健康に関する世界プロジェクト」作成の「アテネ不眠尺度(AIS)」は、世界共通の不眠症判定法である。8つの質問に4段階の回答があり(0～3点換算)、最大24点で数値化し、客観的に不眠度を測定できるものである。

判定法

合計得点が4点未満の場合…睡眠障害の心配はない
合計得点が4～5点の場合…不眠症の疑いが少しある
合計得点が6点以上の場合…不眠症の疑いがある

結果

A群、D群ともにAISによる睡眠評価では、治療前、両群ともに睡眠障害状況にあった。両群間に有意差はなかった。したがって、同等の睡眠障害であったと言える。治療後、A群では有意に睡眠障害が改善した。しかし、D群では睡眠障害は不変であり有意な改善は認められなかった。

治療前のA群、D群ともに睡眠障害ありであったが、治療後、A群では睡眠障害は改善したが、D群では不変であった。

SOC睡眠健康調査票(AIS)

下記Aからまでの8つの質問で、「過去1か月間」に、少なくとも「週3回以上経験したものにチェックしてください」

A. 寝付きは(布団に入ってから寝るまでの要する時間)?

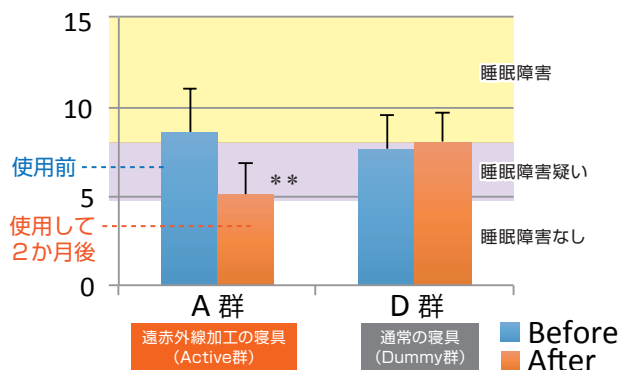
いつも寝つきはよい 0点
 いつもより少し時間がかかった 1点
 いつもよりかなり時間がかかった 2点
 いつもより非常に時間がかかったか、全く眠れなかった 3点

B. 夜間、睡眠途中で目が覚めることは?

問題になるほどではなかった 0点
 少し困ることがあった 1点
 かなり困っている 2点
 深刻な状態が、全くなおれなかった 3点

C. 希望する起床時間より早く目覚め、それ以上眠れなかったか?

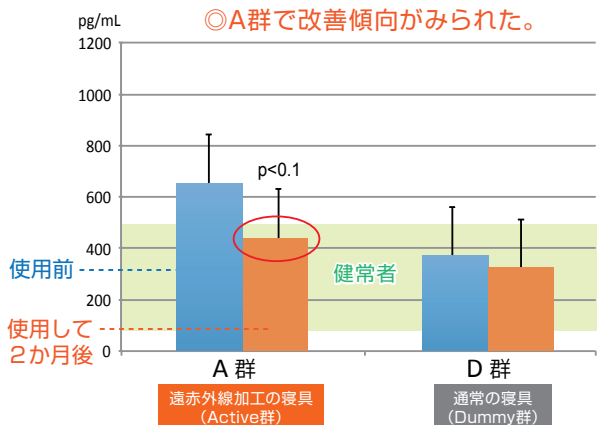
睡眠障害の変化(AISの変化)



カテコールアミン(ノルアドレナリン)の変化

ACTH、アドレナリン、ドーパミン、コルチゾールには、両群ともに、治療前後での有意な変動は認められなかった。

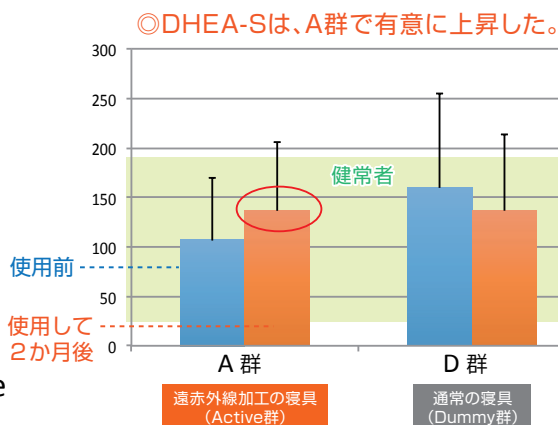
ノルアドレナリンは、治療前の両群間に有意差はなかったが、治療後、A群で下降傾向が認められた。



遠赤外線加工寝具に寝ている人は、脳の興奮を抑えられることが分りました。

DHEA-Sの変化 (dehydroepiandrosterone sulfate)

DHEA-Sは、治療前の両群間に有意差はなかったが、治療後、A群で有意に上昇した。



遠赤外線加工寝具に寝ている人は、高命のバイオリティホルモンを高められることが分りました。

ヘッドアップティルト試験に伴う心拍変動

(HRV)のスペクトル解析 (GMS Makin2)

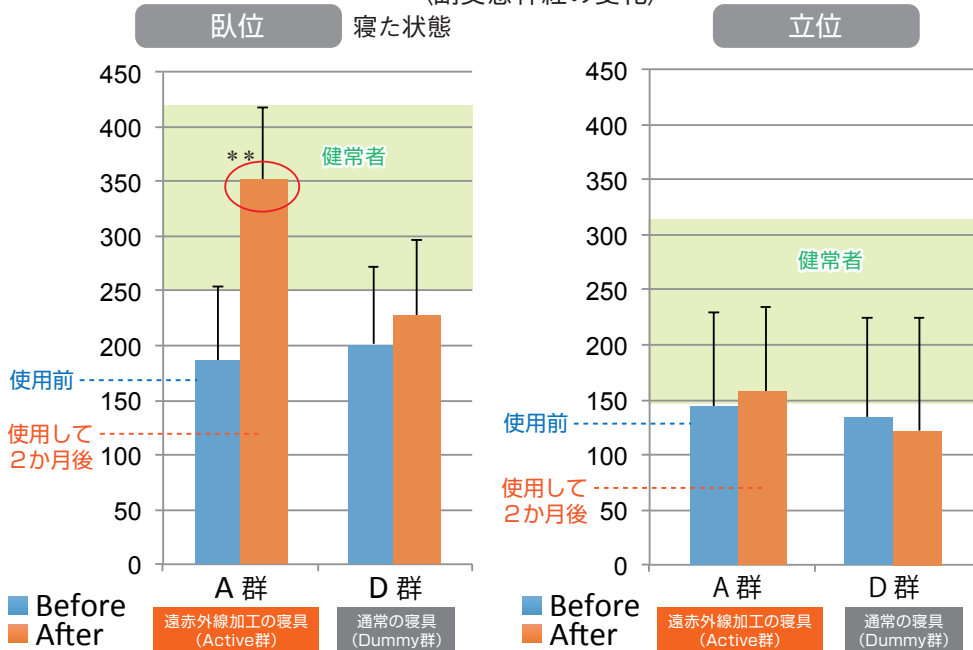
私は現代医学を基調にして、東洋医学、心身医学を用いて治療(全人的医療)を行い、その流れの中で、不眠の研究も行っています。病気の多くが生活習慣の乱れから起こることを考えると、自らの日常生活をコントロールするセルフコントロールがたいへん重要です。なかでも、遠赤外線加工寝具の効果には大きく期待を寄せ、不眠治療にあたっては、最初に睡眠チェックを行っています。身体をあたため、血流をよくする遠赤外線加工寝具を続けていると、自律神経の機能が高まります。生体のホメオスタシスのバランスを整える効果があり、どんな環境であっても横たわるだけで副交感神経が優位になります。実際に、心拍変動を記録して自律神経の機能を評価したのが次図のデータです。(グラフが副交感神経の反応を示すもの)

遠赤外線加工寝具に普段から寝ている人は、横たわってすぐに副交感神経が優位になることが分かった。



「最初は臥位」⇒「そのままベッドが起き上がり立位となる」

〈副交感神経の変化〉

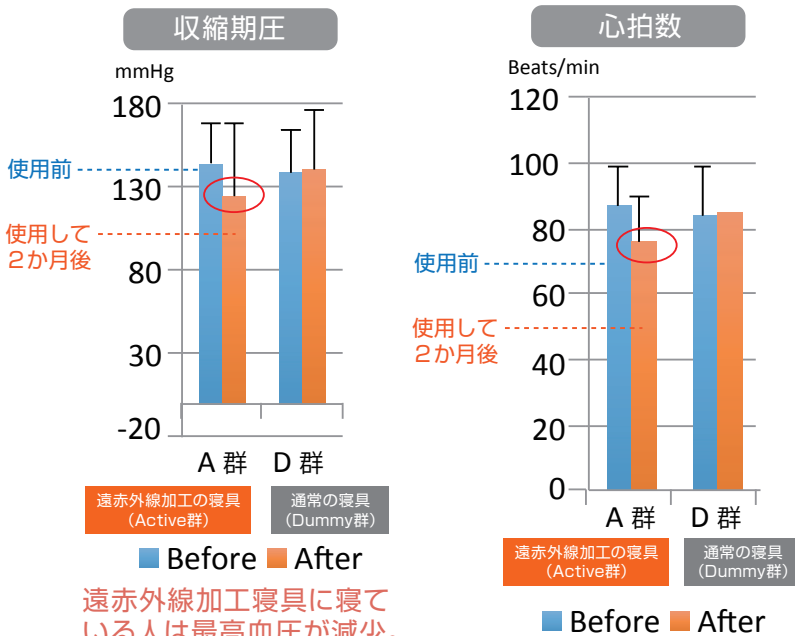


血行動態の測定

(ヘッドアップティルト試験; Parama・tec GP303s)

治験前の比較: 臥位でのSBP、DBP、HR、SV、CI、TPRは両群間に有意差はなかった。立位での、SBP、DBP、HR、SV、CI、TPRも両群間に有意差はなかった。

治験後の比較: 臥位でA群のSBPは、有意に低下した。DBP(A群)には有意な変化は観られなかった。HR(A群)は、有意に低下した。SV・CI・TPR(A群)で上昇傾向が観られた。D群では、有意な変化は観られなかった。



収縮期圧が減少しているのにも関わらず、心臓に負担をかけていないことが分かりました。

遠赤外線加工寝具に寝ている人は最高血圧が減少。

まとめ

今回の遠赤外線加工寝具を用いた治験で、遠赤外線加工寝具は、睡眠障害者の睡眠を有意に改善させたと言える(AIS健康調査票の結果から)。それは、さらに、QOLを高め、被験者の人生を前向きな積極的なものに変える効果までもたらした(CHCW健康調査票、SOC健康調査票の結果から)。しかも、一般血液検査、心電図、X線検査などの結果から、安全な医療用具であると言える。遠赤外線加工寝具のような睡眠用具の使用は、単に睡眠を改善させるだけではなく、昼間のストレス社会に適応して行くなかで歪んだホメオスタシスのバランスを正常化させる作用、すなわち、向ホメオスタシス作用があることが明確になった。



篠浦塾理事長(代表理事)

しのうら のぶさだ
篠浦 伸禎先生

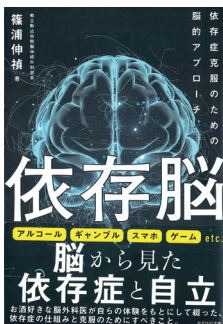
〈プロフィール〉

東京大学医学部卒業。富士脳障害研究所、東京大学医学部附属病院、茨城県立中央病院、都立荏原病院、国立国際医療センターに脳神経外科医師として勤務。1992年、東京大学医学部の医学博士を取得。国立国際医療センターなどで脳神経外科医として勤務。2000年、都立駒込病院脳神経外科部長。2009年、同病院脳神経外科部長。同病院を2023年3月退職。同年4月、(一社)篠浦塾理事長就任。

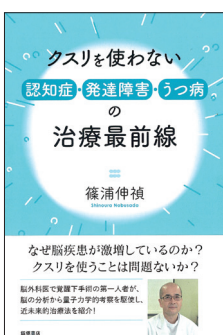
「遠赤外線加工寝具」の紹介書籍



▲162ページに掲載



▲27ページに掲載



▲76ページに掲載

遠赤外線加工寝具について

僕も医療相談をやっている、実は遠赤外線加工寝具を使って血流が増えるかどうかなど、全ての患者で試しています。なかなか頑固で増えない人もいるけど、物凄く血流が明らかに上がっている人もいます。上がらない人でも時間をかければ上がるでしょうが、どうしても時間の制限があるので達成できていません。毛細血管の血流がよくなるのは間違いありません。

毛細血管のデモンストレーションを見て

毛細血管を見ながら血流がよくなるということが明らかになったので、ここからは僕が遠赤外線加工寝具をおすすめする流れです。僕の場合は今年の3月まで駒込病院で働いて、そこで覚醒下手術を長年やっていて、脳機能のいろいろなことを知ることができました。それが一つベースにあります。視床下部というのは自律神経の中核ですが、それも非常に大事であるということが覚醒下でわかりました。あとは西洋医療も長年やってきましたが、どうしても西洋医療だけでは治せない病気が沢山あります。片平さんがおっしゃる通り、不眠のお薬を出したら余計に危険であるとか、治らないことが非常に多いです。それで僕はそれ以外の治療方法を組み合わせて統合医療というものをやっています。その中で遠赤外線加工寝具に出会いました。僕も実際購入して、寝ると確かに調子が良くなったのです。それと帽子も購入して頭も動くという形で、自分でも非常に実感しています。



商品の医学的メカニズムの所見

人間は量子力学的に言うと波動がベースなのです。それも去年、ノーベル物理学賞を量子力学で取りました。世界的にもいろいろな現象を持つ波動がベースにあることが認められています。例えば、医学会でも子宮頸がんは、正常の子宮と子宮頸がんの波動を電氣的に調べたのです。そうすると電氣的に違うことがわかりました。ところが最初、驚いたことに正常な子宮が電氣的に変わっていき、それからしばらくして子宮がんになるのです。波動がおかしくなってから、ものが変わっていきます。その波動がベースにあって粒子物質が変わっていくということです。遠赤外線加工寝具が9.8ミクロンで遠赤外線を出していて、いろんな臓器も体から出しているわけだから共振して増幅させると、エネルギーが全ての臓器が上がっていき体温も上がります。それによって不眠症が良くなるということです。

特に関係するのは視床下部だと言えます。先ほど、ホメオスタシス効果のことを言いましたが、その中心が視床下部なので、それを後押しするということは視床下部自体のエネルギーが上がっているのでしょう。僕が覚醒下をやったのは視床下部の周辺に腫瘍があって、それを何例か手術したのですが、結局、その腫瘍を取ろうとして少し押すだけで意識がなくなるのです。また戻すと意識が回復します。どういうことかという、これは物質では通常あり得ないことなのです。視床下部というのはエネルギーの中核で脳全体を波動で活性化していると言えます。それは脳も波動エネルギーで動いていることも解明されていることですが、その中心が視床下部であるということがわかりました。

僕はメタロンもやっていますが、各臓器は固有に周波数があって、それが正常なときは問題ないですが、それが乱れることによって病気になるわけです。それを統括しているのが視床下部であり、かなり周波数の幅が広くてエネルギーがあります。だから、共振して全ての臓器をコントロールできるでしょう。それが落ちると病気になり、共振を上げると病気が治るという、そのところに遠赤外線加工寝具が関わっているのだと思います。視床下部自体を元気にしているから、いろんな病気が改善しているということに大きく繋がっているでしょう。片平さんは今後どういう形でまたやっというところか、それと今後また一緒に発達障害の改善をやっていくのも非常に楽しみにしています。

工寝具は視床下部を元気にし、様々な病気の改善につながる。

最後に

片平:健康法として何かを始めるにしても、病気にならないと皆さん知ることができません。やはり面倒なことは続かないので、寝ているだけで始められるものというのは非常に良い商品だと思っています。

篠浦先生:今は若い人もストレスを受けていますから、寝られない人が多いです。発達障害を持つ方は特に良い眠りに就けません。そういう意味でも皆さんが早めに使えば、病気を防げると思います。

片平:また、これはどの健康法とも競合しません。あらゆる治療法や商品の効果を高めるお手伝いができます。例えば、サプリメントを摂取するのであれば、毛細血管が再生することでサプリメントの効き目が良くなるのです。歯科クリニックでは遠赤外線加工寝具のブランケットをかけていると血流循環がスムーズになるため麻酔が効きやすくなり、治療時間が早くなるとも言われています。それと、治療家からは筋肉が柔らかくなって施術に入りやすいと聞いています。

篠浦先生:それは極めて日本的な考えで、皆さんを助けてくれますね。

片平:私は今まで健康業界に25年くらい携わってきたため、数多くの提案をされて自分でも実践してきました。しかし遠赤外線加工寝具を超えるものに未だ出会えません。

篠浦先生:一番いいのは手軽に毎日、間違いなく使えることであり、そういう商品はなかなかないと思います。今日はありがとうございました。



篠浦先生 PMC東京オフィス
片平健一郎

「多忙な現代人にとって、最適な健康法“遠赤外線加工寝具”」

都立駒込病院 脳神経外科 部長 篠浦伸禎

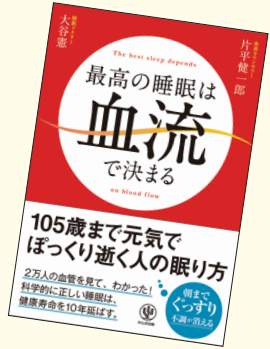
医学が進歩しているにもかかわらず、現代は糖尿病などの生活習慣病が右肩上がりに増えています。その大きな原因のひとつに、ストレス社会ということがあげられます。

では、どうすれば現代のストレス社会の中で健康に生きられるのでしょうか。

それには、まず、自律神経を整えること。自律神経が整っていれば、多少のストレスにも負けることはありません。主役を担うのが、脳の視床下部という自律神経の中樞です。

視床下部は睡眠にも大きく関わっています。たとえば、私は、患者さんが起きたまま脳腫瘍の摘出をする最先端技術の手術を多数行ってきましたが、視床下部を圧迫している腫瘍を摘出している最中に患者さんの意識が低下し、手術を中止せざるをえないことがあります。視床下部は寝たり起きたりという人間の活動をコントロールしているため、手術で少しでも視床下部を圧迫すると、患者さんが眠くなり意識が落ちるのです。

そこで有効なのが、遠赤外線加工寝具です。これを使用することで、夜、体の血流が増えて熟睡できるため、昼間は交感神経が刺激され、自律神経が整います。視床下部も元気を取り戻し、活動と休息の切り替えが上手にできて、仕事のパフォーマンスも上がるのです。



▲86ページに掲載
篠浦先生から寄稿
いただきました。

●篠浦先生のご紹介



2016年5月23日放映
「主治医が見つかる診療所」より

都立駒込病院の脳外科医師・篠浦伸禎先生は最先端の技術を駆使した覚醒下手術の権威です。(覚醒下手術は患者の意識がある状態で反応を確認しながら手術するため、マヒや意識障害など後遺症のリスクを大幅に減らし、脳の機能を温存できる一番安全な手術であるといえます。)脳の機能を知り尽くした篠浦先生は脳育に関する本も数多く執筆しています。その篠浦先生が今最も注目しているのが『認知症の予防』で、認知症の引き金はストレスであると言います。ストレスによって脳の血流が減少し、脳細胞が傷んで機能が低下することが認知症の原因の一つと考えられています。

遠赤外線加工寝具は、良好な睡眠を通して、人生を豊かにし、
健康創成に貢献しうる睡眠用具と考えられた。

医学博士 永田勝太郎

遠赤外線加工寝具を使用することで視床下部も元気を取り戻します。
体の血流が増えて熟眠できるため、
昼間は交感神経が刺激され、自律神経が整います。

脳外科医 篠浦伸禎